

人から貰ったコピーの中に、  
「……夢の力の不思議さ、そしてこの地球は夢降る星、  
想いが実現する星……」とありました。  
「地球は夢降る星」、確かにそうかも知れない。  
人間とは、「夢を見る動物」と定義できるかも知れない。  
考えてみると、「夢を見る」ということは、不思議な機能だ。  
なぜ人間には夢を見るという機能が備わっているのだろうか？  
戦争の中で見る平和への夢、病気の中で見る健康への夢、  
貧しさの中で見る豊かさへの夢、幸せへの夢。夢実現への夢  
60億人の夢で地球が包まれている。ワンダーフル！！  
05/27/2003

ワンダーフル！！とは、  
ワンダー(不思議)がフル(いっぱい)のこと。  
それとも、フルは降るにしようか。  
不思議が空から、いっぱい降ってくるのが、  
ワンダーフル！！ 素晴らしい！！  
「私の人生、どうしていつもこうなるの？」は、  
「私の人生、”ワンダーフル！”」という言葉に  
置き換えましょう。  
05/28/2003

クンバハカ！！クンバハカ！！と肛門を締める。  
それよりもっと肛門を締め上げる言葉がある。  
「あっ！ウンチが出そう！」と心の中で言うと、  
オーッ！！これ条件反射！！  
これ、最初の「アッ！」が大事。  
ウッ！、でもオッ！でも弱い。  
「アッ」で一撃、「ウンチが出そう！」で第二撃！  
これ、「アッ」、「ウン」の呼吸！！ 試してね。  
05/29/2003

やりたくない仕事とやりたい仕事、どちらを選ぶ？  
やりたくない仕事を選ぶべきかも知れないと、始めて思い始めた。  
いやいやながらということではなく、覚悟して受けて立つ。  
したくないことと、したいこと、したくない方を選ぶ方が上の格？かも。  
うーん、人生迷い始めた？  
本当は、すべてを無心・無邪気で受けて実行するのが格上なんだけど。  
でも、無理をしてはいけない。この兼ね合いが？  
でも、一度は、思いっきり楽しいことをしなくては！！  
していいんですよ楽しいことをね！！  
でね、そのお支払いは、きちんとしましょう。ハイッ！！

そのお支払いも楽しく出来れば……そういうことなんですね。

06/05/2003

「さわやか」

人に対して、「さわやか」

自分に対して、「さわやか」

苦勞に対して、「さわやか」

そして、「さわやかな教え」

何でも、「さわやか」がいいですね。

「モンゴルに吹く草原の風」、

さわやかなんだなあ、これが。

06/11/2003

どちらが正しいかより、どちらが美しいかで、

良い話より、さわやかな話を、

奇跡を求めるより、品格を、

そんな選択があっても良いのではないのでしょうか？

06/11/2003

プラーナ・ヤーマ呼吸法は、神呼吸。

神を吸い、神に返す。

06/12/2003

癒しは品格で、エネルギーの爆発は野生で。

両方必要なんじゃないかなあ？ロックとクラシック。

若い時に、クラシックだけを聞いている人って、

ひよわな品格って感じだもんね。

でも品格ってなんだろう？

遊牧民は、品格も野生も同時に持っているような気がする。

「何があっても、対処する自信とともに、けなげに生きる」は、

品格の内かもなあ？

06/12/2003

「聖地」

精神世界に気づいた人は、覚者を求めて、場のエネルギーを求めて、

聖地を求めて、精神的ジプシーのごとくあちこちを巡る。

いつかたどり着くでしょう、自分の中に聖地があるということに。

そこにたどり着くまで、いろいろ行って良いのです。

どこも素晴らしいものがあるのだから。

うん？こんな話、どっかで読んだことあるなあ。

06/15/2003

「勇気」

悟らなくていいんです。霊能力・超能力は求めなくていいんです。

歴史は、夏、飛び込み台から海に飛び込むのと同じ勇氣と、  
失敗を繰り返して得られた智恵で作られたのだから、  
それとちよつとの直感と。  
現実に必要なのは、まず笑顔と勇氣なんです。  
それ以外は、それからなんです。  
勇氣無き靈能力は無意味なり、かも。  
(飛び込みって不思議なんですよ、あれ、毎年夏いっぱい  
飛び込んでいるのに、毎年最初の飛び込みは恐かった。  
冬、海に飛び込む勇氣は、一生のうち、一回か二回は必要な時が  
あるかもしれないなあ。でもそんなもんでいいんだから。)

06/16/2003

推測・連想の力と、疑う力は、何歳頃から生まれるのでしょうか？  
仕事をする上ではとても大切なものです。必要不可欠ですが、  
人間関係では、これは大抵の場合、マイナスに作用します。  
シンクロシティ(共時性)は、無心・純真の時に起きるようです。  
(相手が、社会が)・・・したら、・・・すれば、と思っている時は、  
決して幸運の偶然・共時性は起きない。  
幸運の「・・・たら」、「・・・れば、」は存在しない。これも宇宙法則？  
「疑う力」と共に、「疑わない力」というのも幸せには必要なようです。

05/31/03

板橋駅に隣接している喫茶店を出ると雨だった。「そんな!？」、  
傘を持っていない時に、雨だなんて、私に起きるはずのないことが  
起きている。これはどういう意味だろう？  
駅前のキオスクやコンビニで400円か500円の傘を買うのも  
ひとつの方法だが、どうもそれは、私の本意ではない。  
「前が雨なら、後ろに行こう！」 雨も一時間以内に止みそうだ。  
電車に乗って一駅の池袋東武デパート内の本屋に行った。3冊買って  
隣のCDショップ・コーナーに立ち寄った。森繁久弥の朗読のCDの傍に  
AZUMIという歌手の「風の色」というのがあった。試聴できないので  
どちらを買うか迷ったが、「1, 575円なら期待外れでも、まあいいや」  
と思って、AZUMIなんて聞いたことがない名前だが、「風の色」を、  
そのカバー写真とタイトルで買った。池袋駅に戻るとやはり晴れていた。  
帰ってすぐに聴いてみた。久しぶりのヒットだった。これ、推薦します。  
買って、期待はずれでも1, 575円だから文句を言わないでね。

06/02/2003

どこそこ行けば救われる、何々すれば悟れる  
というものは、巷たくさんあるけれど  
それでは極々少数の限定した人しか救えない。  
いつでも、どこでも、だれでもでなくては、  
多くの人は救えない。

天風教義の基本は、いつでも、どこでも、だれでも  
なんですよ、きっと。  
そういう哲学であり、ノウハウのはずなんです。  
06/21/2003

この世で、自分の肉体を使って、頭を使って自分の能力を  
出し切れることが自分への報酬。  
(能力を出して得られるものが報酬ではなく、  
能力を出せることが報酬なんです。それぞれの事を全力で  
取り組めば、悟りとか云々を目指す必要は無いんです。)  
能力を出した結果としての利益はみんなのために。  
そして地球に、宇宙に愛の波動を広げるために。  
……青臭いかもなあ！！  
でも、よく考えるとそれしかないかも？ そうなのかも？  
06/26/2003

朝、洗面所の鏡の前で、目をつむって手を合わせて  
(合わせなくても良いが、なぜか自然に手が合う。)  
「神様、有り難うございます。ご先祖様、有り難うございます。  
私は幸せです。」と小さな声で静かに言ってみてください。  
そしてちょっと間をおいて、ゆっくり目を開けて鏡を見てください。  
鏡に映る自分の顔の中に何かを発見するかも知れません。  
06/30/2003

人はみんなそれぞれの形で自分の存在証明にあがいている。  
そう、人から愛を欲しがるのも、権力を欲しがるのも、金持ちに  
なりたいたいのも、いい仕事をしたいのも、人にほめられたいのも、  
携帯メールに一生懸命なるのも、自分の存在証明を得たいから。  
それを超越して、自己(宇宙霊と一体の自己)を確立した時、  
ひとつの悟りなんです。存在証明の必要無き存在の自覚。  
07/07/2003

子供「アイスクリーム、ほしいよお！！」  
母親「ダメ！！」  
子供「ほしいよお！！ほしいよお！！」  
ずーっと何十年、何故、母親はアイスクリームを私に買ってくれなかったのだろう？  
母親は私に冷たかったと思いつける。その日、夕食を母親が作ってくれたことを  
思い出さないし考えない、いつまで経っても。  
その日の夕食を思い出したら、大きな前進ですね。  
この例えの意味、分かってくれたらうれしいです。  
07/08/2003

「鏡の前で・・・」は、どうでしたでしょうか？

「えっ！」と感じるものがありましたでしょうか？

もうひとつ言葉を付け加えることもできます。

「神様有り難うございます。ご先祖様有り難うございます。

私は幸せです。守護霊様有り難うございます。私は運がいい。」

何かが違うかも知れませんし、同じかも知れません。

味わってみてください。

しかし、これ以上言葉を付け加えると効果は無いようです。

お好みでやってみてください。

07/17/2003

鏡の前で、「神様、有り難うございます。ご先祖様、有り難うございます。

私は幸せです。」と「神様有り難うございます。ご先祖様有り難うございます。

私は幸せです。守護霊様有り難うございます。私は運がいい。」と

「神様有り難うございます。ご先祖様有り難うございます。私は幸せです。

守護霊様有り難うございます。私は幸せです。」この3通り微妙に結果が違う。

どうして違うのか分からないが違う。お好みでやってみてください。

私は以前から言っているのですが、「真理の著作権は人間には無い。その

著作権は神様にある」と。この鏡の前で云々は真理です。すべての宗教に矛盾

することなく世界中の誰でもできる。発案者不詳で世界に広がって欲しいものだ。

予め答えを理屈で知ってこれを始めては意味がない。それぞれに気づいたことに、

「そうそうその通りなんだよ！」と答えるしかない。

これは意味を予め言葉で説明してはならない、

予め理屈脳で考えてはいけないものなんです。

教えられたものでなく、自分で気づいたものが大事なんです。

やってみて、それぞれに左脳で考える前に気づいたその内容がそれぞれに

【真理】なんです。いえいえ気づく前の状態が真理なんです。

左脳が働き始めたらその時点で真理から離れるのです。

08/02/2003

「ご先祖様有り難うございます」は、

「何々家遠祖代々のご先祖様有り難うございます」と言う方法もあります。

ちょっと宗教っぽくなってしまいますが。

この時、ずーっとご先祖様の人生というか命というか、そういう繋がりを

イメージ瞑想して試してみるのもひとつの方法です。いろんな戦争や飢饉や

天変地異を乗り越えて今の自分の命まで繋がってきた、命が守られてきた。

これ、ひとりでやる真理瞑想ですよ。

そういうイメージをした後の自分の膂下丹田がどうなっているか、

呼吸がどうなっているか、意識を持っていってください。

命が生きて生きて生き抜いて自分に繋がっているという話は、杉山会長(当時)

の講義の中によく含まれていた。

08/02/2003

心が人生を作る。確かにそうかも知れないと思えるようになった。  
で、その心は誰が作る。心は自分で作っているのかなあ???  
湧いてくる、流れてくる、流される、という感じじゃないのかなあ?  
それを自分で作れるようになると霊性的に一人前?かも。  
その心も自ら作らない。それは一人前の段階を卒業ということ。  
それは神人暝合の一步手前かも知れない。

(心を自ら作る、それが順動仮我。心を自ら作らない、それが実我。

自らコントロールできない心に流されるのが逆動仮我。ところが  
普通はその逆動仮我の心が「正しい思い」だと誰もが思っている。)

人は、どうしてこうも自分のことが分からないのだろうか?

もともと分からないように遺伝子構造がなっているのかもしれない。

目だって自分を見られるように頭のとっぺんからアンテナのように  
立って360°見られる方がよっぽど合理的なのに。そのように神様が  
作っていないのはなぜだろう?ほかの動物もほとんど自分を見ることが  
できるようにはなっていない。それなのに人間は自分を見ようとする。  
また肉体に付随する目のように心の目も同じようにものを正しく見ている  
と錯覚している。何も見えていないのに。もともと見えないものを見ようと  
するところに無理があるのかも?それもまた人間の不思議なとこだ。

08/27/2003

分かっている人が、分かっている人を見ると、「この人、分かっているなあ」思う。  
分かっている人が、分かっている人を見ると、「この人、分かっているなあ」と思う。  
分かっている人同士が話すと、「そうそう、そうなのよねえ!」と納得する。  
分かっている人同士が話すと、お互いニコッとする。  
あなたはどちらですか?

「私、分かっている人」と思っていますか?

分かっている人は、「私、分かっている人」と思う。

分かっている人は、「私、分かっている人」と思う。だからますます謙虚になる。

なんというパラドックス!!!

ふーっ、なんとかならないかなあ、これ。

08/30/2003

動物は、孤独を恐れないのに、なぜ人間は孤独を恐れるのだろうか?

09/03/2003

目は自分を見るようには出来ていない。それは自分を見るなということか?

常に見える目の前のことに意識を集中すればよい、ただ生き抜けば良い、そして  
次の段階では、目で見える世界を良くすることだけを考えればよいということか?

自分を見る必要は無い、だから自分を見るようには出来ていない。

「汝自身を知れ」と、「己を忘れてものを見よ、ものを忘れて道を見よ」

このふたつは違うように聞こえるが?

汝自身とは真我や実我のことなんだろうねえ？

実我は無思考の中で認識される。真我は認識を越えた認識かもね？

うーん、どうも、最近、思考が理屈っぽくなってきたなあ、いかんいかん。

09/03/2003

神道や仏教を極めている人の話を聞いていると、天風教義の深さがより分かると同時に、自分が如何に天風教義を理解していないかが分かってくる。

天風教義と他の教義と比較している間は、まだ天風教義の本質を理解していないような気がする。他の教えは学ぶべきものであって、優劣を比較するものではない。

天風先生は、「みんな(当時の会員)に分かることしか話していない。」と言っていたようだが、当時の人が聞いても分からないレベルの内容を聞いたかったなあ！！

当時は、仮に社会的地位はあっても、真理を何も知らない人が病気などの理由でたまたま縁で入会した人がほとんどだったが、今は天風教義を本で既に読んだり、他のたくさんの知識を持っている人が入会している。40年前、50年前と今では精神世界のみならず庶民の知識の量が違う。本屋にはあらゆる知識がわんさかと並んでいる。

しかし知識や財産があっても人生の問題解決にはならないようだ。

「豊かになれば幸せになれると戦後約60年日本人は頑張ってきて、豊かになったら、そこには幸せはなかった。待っていたのは鬱にリストラに理解不能な人間性、それに生きることに夢中だった時代には無かった自分に対する理由の分からない不安。1945年までは強さを求め、敗戦で強さに挫折し、それから物質的豊かさを求めてきた。今、豊かさに挫折している。転機なんでしょうねえ、今は。

民族として強さを求めることを卒業し、今、豊かさを求めることを卒業しようとしていると言えるかも知れない。それは素晴らしいことです。そんな時代はかつて無かった。政治家は今も強さを求めているようだ。

09/05/2003

今日(9/7)、山岳写真展に行ってきた。素晴らしい山々が美しく撮られていた。

こういうものを美しいと感じるのは、地球では人間だけだろう。

美しいと感じることが不思議だ。不思議であると同時にそういう感性を神？遺伝子？から持たされていることが本当に有り難い。美しいと感じる感性が我々の遺伝子の中に組み込まれていなければ、なんという味気ない人生になるだろうか。

09/07/2003

天風教義はひとつだが、認識の違いによって違いが出てくる。

本人の気づきとは別に、意識の深いレベルで神人瞑合へのレールに乗っている人。

自分の人生の諸問題に打ち勝とうと教義に打ち込んでいる人。

この二通りの違いがある。両方とも正しいが、この違いはいかんともしがたい。

この違いによって人に話す内容を変えなくてはならないのが分かった。

いろんな世界があるが、確かに、「21世紀に入って分かる人と分からない人の差が

はっきりしてきた」という話は本当かも知れない。

上から下は見えるが、下から上は見えない。

天風先生も一般会員や大衆に話す時は、人生の諸問題に打ち勝つ勇気と方法を説いていた。神人瞑合に向かう人には、その大衆への話の中にヒントを入れていた。神人瞑合への疑問にたどり着いた人には、別個指導していたということですね。

09/15/2003

カラス、白ければ国鳥。

その頭の良さ、生命力の強さなどから白色なら評価されて愛され国鳥に指定されるかも。(黒色だから嫌われる。ハトだって黒色なら平和の象徴にはならない。)

何という人間勝手！！かも。

11/14/2003

学力より見識力。

いろんなニュースを見聞きすると、あまりにも子供にも大人にも見識、状況認識能力が無さ過ぎる。机の上での勉強からはそういう能力は生まれない。

11/22/2003

家庭での失敗は、仕事の成功で補うことはできないと、どこかの坊主が本に書いていた。近くの者への思いやりが無くて、仕事や趣味で成功しても何の価値もない。問題は男が仕事を一生懸命していればそれで自分は思いやりがあると誤認識していることだ。

11/22/2003

テロリスト、反対から見ると、パルチザン。

12/02/2003

男は答えの無い問題を頭を抱えて解こうとする。

女は問題を捨てる。

12/02/2003

何かを見て、あなたの心に美しいと感じさせる働き、それが神の働きであり、神そのものである。

12/07/2003

人はいつも人のことを、自分のことを、あうだ、こうだ、あうだ、こうだ、と考えています。それって文明病なのかな？それとも人間病？

12/20/2003

正月、それは田舎では行事だが、都会では町のイベントと個人の休日。田舎育ちで本当に良かったと思う。



田舎では、正月には家の中の、そして村のいろんな神様を祀る行事をする。  
私は昔から正月に旅行する人の心が分からない。  
家の行事はどうするのだ？と思ってしまう。元旦の朝は、ご先祖様や神様も一緒に  
新年を祝っているのだから。

01/09/2004

子育ては、愛情と一生懸命と”ドジ”。完璧はいけません。

01/10/2004

アメリカが、地球や人類を救うのはハリウツドの映画の中だけ。

01/10/2004

民間報道陣があれば自衛隊についてイラクに行くのに、安全で無いところに  
自衛隊派遣は反対というのは筋が通らない。自分たち民間人(記者達)があれば  
たくさん行くことは自ら安全の証明をしているようなもの。

01/26/2004

女人禁制、それは女性側に問題があるのではなく、女性に影響を受ける男の側に問題が  
あるから女人禁制なのかも。

01/26/2004

真人とは、分別を持った子供心。  
分別を持った子供はあまりかわいくないけど、分別心の無い子供心のままの大人も困る。

02/08/2004

「日亜化学、ぼろ儲け。この世の天国、あの世の地獄」ですな。  
悪魔と手を結ぶとこの世では数十年天国になる。

02/09/2004

世の中、常識と非常識があることを教わってきました。  
いえいえ、実は【異常識】に【私常識】もあるのです。  
社会常識なんのその、ひたすら私常識に従って生きている人もいます。

02/12/2004

人間は人間病という名の生き物である。

頭の中に湧き出てきた妄想を事実だ、真実だと思いこむ病気そのもの。

子供がテレビゲームに夢中になっていると大人は批判するが、大人もテレビを使わないで、頭の中で妄想ゲームに夢中になっている。同じことだ。

「私は、私は、私は、・・・」「あの人は、あの人は、・・・」と

それが脳細胞の中で妄想が、事実と区別できない形として定着する。

他人から見れば、それは単なる錯覚や妄想なのに。

人間は、自意識過剰による妄想ゲームを生きているのかも知れない。

同じ妄想ゲームなら、楽しく、積極的、楽天的妄想で生きよう。

妄想ゲームから離れた時、それが悟りである。

02/23/2004

人間、生きることの本当の大切さを知ったら、もう死んでいいです。

この生の卒業証書が与えられるのです。

02/24/2004

この世界には二つの真理がある。

ひとつは法則の真理。もう一つは存在の真理。

理屈を学ぶのは法則の真理。それは納得の世界。

存在の真理には一切の理屈が無い。至福の世界。

「なるほど！ そうかあ！」というのが納得。心の奥底での深い深い安らぎが至福。

親子関係は、準存在の真理の世界(本当の存在の真理の場合もある)。いかなる親でも、いかなる子供でも理屈抜きで親子だから。恋愛は似非存在の真理。

恋愛している間は理屈抜きだが、時が経てば壊れる。存在の真理に出会って

いる人は、その存在のためにいつでも黙って死ぬ覚悟ができています。

法則の真理が羅針盤なら、存在の真理はバラスト(転覆しないように船の底に

置いている重り)。決して自分を見失うことはない。別な言い方をすると、法則

の真理だけを求めている人は、片手で必死でバットを振っているようなもの。

存在の真理の”存在”とはそれが人とは限らない。仕事の場合もあるし、芸術の

場合もある。一人一人にとって違う。それは他人からは伺い知ることにはできない。

法則の真理と共に、存在の真理に出会うことが真人生の醍醐味。

本当は、”法則”より”存在”に出会って欲しい。”knowing” より ”being”

法則の真理は、タマネギの皮むきだ。存在の真理は、リンゴをただ”がぶり”だ。

知ることは楽しいが、問題解決にはならない。時間が経つと問題が再発する。

自分が”存在そのもの”になった時、問題は消える。”存在そのもの”は”真我”で

あり、”自己の本質”あり、”安らぎの里”であり、自分の生命の底に書かれている

自分ではない何かと出会うことだ。自分ではないが自分が生まれてきて存在して

いる意味の本質である。自分の命も、希望も、人生も欲もすべてを取り除いた時、

自分にとって最も大切なそれは見えてくる。自分の命に未練がある間は、それは見えてこないだろう。自分の心の中で自分の命を捨てた時、頭の中に映像が見えてくる。それが存在の真理。最も大切なもの。

02/27/2004

人間は、解決すべきカルマを解消すべく生まれ、いろんな試練に直面します。カルマが無ければ人間として生まれてこない。カルマを解消すべく試練に立ち向かうには力が必要です。その力が無い間は試練はやって来ません。その力は、人格力、人間力と言えるかも知れません。その人間力が出来てから試練がやってくるのです。それまで試練の方が、人間の方に立ち向かう準備が出来るまで待っているのです。

03/02/2004

自分を慈しむ、自分の心を、自分の身体を慈しむ。それでいいのです。それが出来れば、他人を慈しむことが出来るようになる。能力の開発はいいのです。その過程で結果的に付いてくる能力は、穏やかに謙虚に受け入れれば良いのです。

03/05/2004

地球3次元の世界では、善の善は栄えないのかも知れないなあ。「80%の悪と20%の善」とか「70%の悪と30%の善」を有した者が一番栄えるのかもなあ。その悪を隠し、善を口に出して表現する人間が政治家でも事業家でも大成するかもなあ。考えてしまうなあ。でもなあ、魂の世界から見ると、大成なんて川の中に流れる一枚の木の葉みたいなものだしなあ。でも同じ木の葉なら、大成のほうがいいよなあ。

03/13/2004

この世は、みんな助け合い。  
お金が絡む方が良いときもある。それが仕事。  
情が絡む方が良いときがある。それが男と女。  
何事も助け合っていれば世の中はうまく流れる。

03/19/2004

私の机の上は、ミステリー・スポット！忽然と書類や物が消える。

03/19/2004

子供を幸せにしない大人は人間失格だ。  
アメリカも日本も政府や各権力は人間失格だ。

04/03/2004

インドのカースト制度、日本人は理解出来ないという。  
しかし日本にもカースト制度は存在する。  
母親達の中に、「学歴・大学ランキングカースト制度」が。  
04/03/2004

人生の最期、あなたは次のどの言葉を選びたいですか？  
「あー、楽しかったっ！」それとも、「私の責任は果たした！」  
あなたはどちらかを選ぶことができます。  
04/15/2004

山の中腹の岩場から湧き出ている清水を見つけるのは、  
たいてい汗を流しながら山を登っているときだ。  
04/21/2004

女の直観！ どうでもいいことは当たるけど、  
大事なこと、幸せになることは当たらない。  
女の直観が本当に当たるなら不幸せになる女はいない。  
05/01/2004

「心の解放、魂の向上」を私は人に願うだけだ。  
そのためには、まず気づかなければならない。  
誰もその最初のステップが、なかなか難しい。  
05/01/2004

見ること。気づくこと。この二つだな。  
見ないと気づかない。気づかないと見えない。  
如何に気づいていないか、如何に見ていないか、  
なかなか分からない。  
見ているつもり、気づいているつもりで毎日生きている。  
05/05/2004

せっかくこの世に人間として生まれ、一日一日を生きている。  
50歳過ぎれば悩んでいる暇なんかは無い。  
一日一日が天命使命との格闘です。  
05/10/2004

鯉の滝登り、一匹一匹自分で登るしかない。誰も助けてくれない。  
そんな時を経験しないと人生の滝は登れない。  
まあ、どこの場所が登りやすそうかを聞くことは出来るかも知れないけど。  
05/10/2004

悟りには、小悟、中悟、大悟がある。  
生きていること、生きることの素晴らしさを悟るのが小悟、  
自分に起きるすべての原因は自分にある事を悟るのが中悟、  
宇宙霊(神)と一体であることを悟るのが大悟、かもなあ？  
たとえ小悟でも悟れば、悩み、煩悶から解放される。  
05/11/2004

心や魂が進化する時、原因不明の病になるのかも。  
05/11/2004

行者になってはいけません。人格者を目指しなさい。  
06/07/2004

同じ人間なのにどうしてこんなに違うのだろう！！  
06/21/2004

本能を満足させて上げないと、人間、理屈に走る。  
理屈を話している間は、ダメだなあ！  
まだダメだなあ！！ふーっ！！(ため息)  
頭を使ってはダメだなあ！！  
06/22/2004

歳と共に与えられる問題が難しくなるなあ。  
(但し、難しいということと悩むということとは別問題)  
問題が難しくなることは、今までの課題を卒業してきたからだろうか？  
それとも卒業してこなかったからだろうか？  
それともライフワークのテーマにそろそろ着手しろということだろうか？  
06/25/2004

天風教義を人生(健康や成功)の道具にするのか、  
それとも人生(真理)の道にするのか、選択を問われる時が来ている。  
天風教義自体、道具にされるのか、道になるのか、岐路である。  
それは学ぶ者、伝える者の人格が決める。

06/26/2004

道元に、「己を忘れてものを見よ、ものを忘れて道を見よ」とか、  
「仏道を習うとは己を忘ることなり」とか、「己を捨てよ」とかありますね。  
よく考えるとその通りなんです、己を忘れるってどういうことなんだろう？  
普通の人にそんな事出来るのかなあ？  
己を忘れることはどういうことなんだろう？とやさしく因数分解してみた。  
「己を忘れる」を分解すると、「怒らず、恐れず、悲しまず、正直、親切、愉快に・・・  
人の喜びを我が喜びとして・・・」なんです。結局は、そういうことなんです。  
これを怒らずにおられないというのは、自分に執着していることなんです。  
時に公憤は正しいが、公憤なんて、そうめったやったらにあることではない。  
七夕の日の気づきでした。07/07/2004

幼少期の両親との関係、特に母親との関係と前世において作られたカルマと  
どうもそれと現在の国や民族の状況と関係しているように思われる。三つの中の  
単体だけをいくらじくっても心の問題は解決しないのではないか思い始めた。  
07/15/2004

世の中、聞いて良い話はたくさんあるけど、身に付く話はないなあ。  
三つ子の魂百までという話はまことに正しいが、それを乗り越える方法がまだ  
見つからないなあ。それが問題だ。  
07/20/2004

太陽の光は、パワーのエネルギーを、月の光は調整のエネルギーを人間に  
与えている。人間のみならず、すべてに与えているのだろう。  
08/02/2004

人格に勝る超能力無し。  
歴史は、人格と信念で作られている。  
08/09/2004

最近、ちょっと寂しく思うものがあります。

それは一朝、事があれば革命に参じる年齢を越えたことです。

時至れば革命を起こすという気迫が消えているなあと思う。

一步ずつの前進と調和が自分の思考の主体になってきた。

自己に内在する革命への秘めたるエネルギーよ、今何処。

こんな俺ではなかったと思うのに。

男は何らかの革命へのエネルギーを失ったら男ではないな。

(革命への秘めたる情熱を押し殺して、黙って家族を守るのもまた男です。)

08/10/2004

人間には二種類あります。

ひとつは、人を殺す側の人間。もうひとつは、人を助ける側の人間。

軍隊や警察は人を殺す側です、医者や消防署は助ける側ですね。

自分は常に正しいと思いつつ気づかずに、自分の言動や心で人を殺す側になっていることがあります。同じ人間なら助ける側になりたいものです。

(注:警察は助ける側ではありません。)

人間には二種類あります。

ひとつは、子供を育てる時に、自分が育てられたように育てれば良いと思うタイプと、

もう一つは、自分が育てられたようには子供を育てたくないと思うタイプと。

育てられたように育てるのは、自分に身に付いたそのままだから自然で楽しいですね。

自分が育てられた方法ではなく育てようとする、自分に身に付いていないから常にどうすれば良いかを頭で考えてやらなければならないので大変です。

この場合、しばしば「べき論」で考えようとするので、子供に無理がかかります。

私は、子供がいれば自分が育てられたように育てればよいと思っているから常にとても心が楽しいです、考えなくても良いから。そして受けたように愛情を注げば良いのだから。

(但し、「べき論」で育てられて、育てられたとおりの「べき論」で育てると無理が働きます。)

08/18/2004

人間には二種類あります。

ひとつは、自分は誰に褒められたいかをきちんと知っている人。

もうひとつは、本当は誰に褒められたいかを分かっていない人。

人は、誰かに認められたい、褒められたいという本能があります。

その誰かを明確に認識できていない人は誰彼無しに求めます。

その誰かとは、母親であることが多いようですが、父親であったり、女房であったり、

亭主であったり、神様であったり、自分の中のもう一人の自分であったりしますが、

実はそれはたった一人なのです。その一人に褒められたくて頑張るのです。

その人こそ自分にとっての存在の真理なのです。そのことが明確になっていない人は、

いつまでも心がもがいているのです。私は、十代の頃からそのことははっきり分かって

いました。だから周りの多くの人から褒められても有頂天になることもないし、人に誤解されても別に気にかからない。

人間は複雑微妙でもありますが、深いところではとても単純でもあります。

褒められたい人に、褒められなかつたりすると自我の確立が壊れるのです。

褒められたい人が既に死んでいる場合は、よく自分を見つめて天国のその人と会話しなくてはなりません。

08/20/2004

世の中、あちこちに自縛霊というものがいるらしい。

どういう人が死んで自縛霊になるのだろうか？

それは、自縛人だな。自分で自分を縛っている人。

問題は、自分が自縛人になっていることに気づいていないことだな。

自分の過去や自分の考えで自分を縛る。誰かに恨みを持っているような人だけでなく、自分は正しいと思っている正義感(自分勝手な正義感)の強い人だな。

08/25/2004

そう、人は神を信仰していても、その神に出会ってもそれが神だと分からない。

それは本当だな。多くの人が、「彼が神だ」と言えば、「なるほど彼が神か」と信じる。

要するに多くの人には神を信じるのでなく、人の言う事を信じているのだ。

本の中の神は信じるが、目の前の神は変人・狂人が「ただの人」としてしか見えない。

不思議だな。時に悪魔は神の顔をしてやってくる。刺激的だから人には神に見える。

08/31/2004

血縁、血統という流れは確かにあります。霊統という言葉を知っている人もいると思います。霊統、霊縁というのも確かにあると思います。これは深い仲間ですね。同じレベルで幾世も一緒に学びあっているとか、同じ心で国を守るために戦った戦友ですね。もっと深い個人的な繋がりや魂縁というものもあると思いますね。これが分かればいろんなことも迷いが無くなるのだけれど。結婚とは結魂だという人もいますね。そういう場合もあるだろうし、とりあえずという場合もあるだろうし。結婚が結魂になった人は幸せですね。たとえ見た目の苦勞があったとしても。しかし、本人がその魂縁を自覚していない場合もあるし、そうでないのにそうだと誤解している場合もあるだろうし。分かっているながらも、そのように生きられない場合もあるし。安定、安全、無難を選ぶと真の人生は得られないと思うなあ。人生、難しい。

09/06/2004

アテネオリンピック開会式を見て、「ギリシャには文化があるなあ！文化が遺伝子の中に組み込まれている」と思いました。もちろん日本にも文化がある。アメリカには文化がない。アメリカにあるものは、欲と理屈だけだな。理屈も自分の都合に良い理屈。

09/09/2004



天風会は天風海。その海の中に潜って海中や海底の景色を楽しめるようになると、海面の波の形はあまり気にかからなくなるんだけどなあ。海面を泳ぐだけだと、波が鼻に入って嫌だとか、波が荒くて海に入れなとか、いろいろ好き嫌いの理屈が出てくる。何事も一人海中遊泳出来るようになると楽しい。海面は海面、海中は海中。

09/20/2004

占いは、知らない町を目的地にたどり着くための地図。

別の新しい町を歩くときも、常に地図を必要とする。(但し、地図を作る人は凄い。)

地図と標しに首っ丈になって途中の街並みはよく覚えな。

天風教義は、目的にたどり着くまで人に聞き、聞き、汗をかきかきすること。

どこの町でも一人で歩くコツを覚えることが出来る。景色一つ一つ味わいながら歩ける。

宗教は、たまたま出会った親切な人が目的地まで連れていってくれること。時々騙されて別の所へ連れて行かれる。別の新しい町に入っても、いつでもガイドを必要とする。

ガイドが天使か、詐欺師か悪魔か、素人には区別が付かない。ガイドの話だけを聞きながら歩くので街並みが目に入らな。

こんな解釈どうでっしゃろ。

09/21/2004

人間にはなぜ悩むという機能が付いているのだろうか？

目の前に起きる現象のひとつひとつに対処すれば良いだけなのに。

考えてみると不思議な機能だ。

09/30/2004

「人は、幸せに出会って幸せに気づかず、神に出会って神に気づかず。」

なんだよなあ。

「そんなことない、私は神に出会えばそれが神だと分かる」と思っていますか？

そう思っている限り神に気づくことはな。

10/06/2004

結局、人間の価値は責任の取り方なのかも知れない。

失敗したり、間違ったりした時、「ごめんなさい」、「申し訳ありません」と素直に言えるかどうか、そしてその責任の取り方で人間の大人具合が分かるわけですよ。その考えを進めると、育てて貰った責任、生まれた責任、自分の命への責任の取り方ということですよ。自分の命に対してどう責任を取るか？それが問題だ。悩んでいる暇はないと思うけどなあ。

10/09/2004

人間は不思議な動物だ。頭が痛い、頭が痛いと言頭痛に苦しむ。足下に頭痛を治す薬草が生えていることを知らないで。人間の苦しみなんて足下に解決の草があるのに気づかないで勝手に苦しんでいるようなものだ。「神様は、人間に必要なものは人間のまわりにすべて用意している」というのは本当かも知れない。薬も食べ物も、そしてきっと精神的な何かもあるのかも知れない。でも薬草なんて不思議と思いませんか、私はずっと不思議に思っていました。この草は何々の病に効く、この草は何に効くというように、人間に必要な成分が草の中に用意されているし、万能の薬草というものはまた無いのです。

10/10/2004

マイナス思考というものは実はとても自分勝手な思考なんですよ。でもその後に持つプラス思考もとても自分勝手になるんですよ。どちらも自分勝手な思考に違いはない。本当のプラス思考になるのは時間がかかる。絶対積極(ぜったいせきぎよく)を身につけて始めて本当のプラス思考になる。

10/11/2004

「バチが当たる」という日本語が日本から消えた。そしたらバチが当たるようになった。

10/14/2004

人間、幸せを求めれば、幸せの代わりに学び(試練)がやってくる。

ならば、学びを求めれば幸せがやってくるかも。幸せだなあ！！

健康だろうが、病気だろうが、豊かだろうが、貧しかろうが、そんなこと意識の外に置いて、『道』を歩けば幸せ。

10/19/2004

つれづれ思うに、女房に先立たれる男はそれだけで男失格だな。いろいろあるのですべてのケースでそうだとは言えないが、一般論としてはそうだな。本来長生きするはずの女に気苦労をかけたからそうなるのだから。成功とか修行とか悟りという前に「いたわり」が大事じゃないかなあ？まあ生活いろいろあって、いたわってられるか！というケースも多いけど。魂や人格のレベルが上がると、そのいろいろ自体が消える。天風会やその会員には、「いたわり」という概念が欠如している。

仕事をしていれば、修行をしていればそれだけで立派(充分条件)だと日本の男は誤解している。でも逆から見ると、いたわりを持った男はなよなよしていて魅力がない。命から見ると、家族や伴侶を元気で長生きさせることほど立派な基本は無い。その上に修行だ、学びだ、成功だという建物を建てるのが意味ある人生だと思うのだが。

10/20/2004

ある人は、「病治しは心の癖直し」と言っている。

私は付け加えて言いたい、「人生もまた心の癖直し」と。

人生の成功とは、心の癖治しが出来た人のことを言う。その結果として仕事や健康や人間関係の成功が生まれるだけだ。それらはあくまで心の癖直しの結果なのだ。

人は、『道』より目先の幸せを選ぶ。1000人中999人がそうするだろう。

それはそれで悪いことではないが、その選択はその人の心のレベルに応じている。

「今度は違う。今度はきつとうまくいく」、と思いながら結局同じ事の繰り返しから抜け出られない。どうすればワンパターンの繰り返しから抜け出られるのだろうか？

私自身抜け出られないでいる。どうもヒントは、基本練習の繰り返しにあるようだ。

人は結果を求めた応用に走りたがる癖がある。毎日毎日基本練習をひたすら繰り返すことにより、結果としていざという時に瞬間的な応用が生まれる。目先の『楽』を選んででは一歩前進は生まれないようだ。但し、思考硬直的繰り返しは、敗北になる。

基本練習を繰り返すとき、思考の柔軟性を失ってはならないことが大事だな。

先日ある人と電話で話をした。「なるほど、そのお義姉さんは彼女自身の親との間に何か問題があるんじゃないの？」と私は聞いた。「そうなのよ、私はおじいさん、おばあさんに育てられたのであって、親には育てて貰っていないと言っているのよ」ということであった。人は幼児期における親との関係が、すべての思考癖に繋がってくる。そこからなかなか抜け出せない。そのことが分からないで自分の考えや感情は正しいと思っている人。分かってはいるけど、なかなかその心の癖を修正できない人。それは分からない方が幸せかも知れない。いつも自分は正しいと思っていられるのだから。しかしそれはやがて、自分の病気や自分の家族関係の摩擦となって返ってくるだろう。問題が分かって、自分の心を修正できない苦しみはやはりかなりの時間続く。しかしその気づいた苦しみはやがて心や魂の成長となる。場合によっては解決は来世まで持ち越すことになるかも知れないが魂の成長路線に乗ったことは確かだ。目先の心の幸せを選択すると結局は難しい結果になることが多いようだ。それに気づくことがまず最初だな。そのためには、ひとり心静かな安定を得ることがまず必要だな。自分の外に心の安定の要素を求めては同じ事の繰り返しになる。分かるかなあ？これ。

10/25/2004

座ることで悟るのではない、覚悟で悟るのです。

座る覚悟から悟りが生まれる。一回、一回、覚悟の繰り返し。

覚悟のない座りは気持ち良いだけ。まあ、それだけでも上出来だけど。

覚悟といっても心身に力が入ってはいけない。心身脱落した覚悟。

本当に自己抛擲するのはある種の覚悟だよなあ、きっと。

10/29/2004

地震も予想外の不意打ちだよなあ！神戸も新潟も。。専門家は後講釈をするだけだ。

私はそれを、「昨日の天気予報をしている」と言っている。

人生も意識を越えた不意打ちが起きるよなあ！！悲劇にしても喜劇にしても。

いつ何が起きても、「人生、無念！！！」ということが無いように一日一日にけじめを

付けて生きたいものだ。私は、今はまだ少し無念が残るなあ。10/30/2004

人生というものは、ようわからんけど、ひょっとしたら、セカンド・ベストなのかもなあ！  
誰もが常にベストの結果を、人生を望むけど、与えられるのはセカンド・ベスト。  
頑張ったら頑張ったなりのセカンド・ベスト、怠けたら怠けたなりのセカンド・ベスト。  
幸せが転がり込んでくるのがベスト、試練がやってくるのがセカンド・ベスト。  
レーナ・マリアは言っていた、「望みはかなわない方がよい」と。人生は一筋縄では  
いかんなあ。でもセカンド・ベストを積み重ねて、最後はこれがベストだったと思える  
のかも知れない。

11/05/2004

人はどうして自分の心の水たまりで溺れるのだろうか？  
それは水深50センチの水たまりで溺れ死ぬようなものだ。  
そんな死に方をした人間を、「アホじゃないの」と言うのに、  
心の世界では自分も同じ事をしていることに気づかない。  
人は言う、「両手を伸ばして必死で支えても水面が鼻の位置ぎりぎり  
苦しい、誰か、私を支えて！私を持ち上げて！」と。  
自分の足で立てばパッと済むことなのに。それが自立ということだ。  
私も昔々、水深10センチの深さの水たまりに顔を浸けて苦しい苦しいともがいた  
経験があるから分かる。あの時は結局、水が蒸発するまで苦しんだ。

11/08/2004

私は、もう一度言いたい、「人は、幸せに出会って幸せに気づかず、神に出会って  
神に気づかず」。分かっていると言えないんだよなあ、私は。本人が気づくしかない。  
それはその人の運命か、天命か、器か？どうしようもない。クンバハカと同じだな。

最初に居心地の良い縁は、きっと進化向上の縁では無いね。正座と同じだよな。  
最初はしびれて厳しいが、慣れると一番楽な姿勢であり美しい姿になるのと同じ。  
最初にきちんと訓練された美しさが大事。「多くの人は心の姿勢が訓練されていな  
さ過ぎる」と偉そうに私が言っている。思考も感情も訓練されないと美しくならない。

11/08/2004

裸の王様の話、知っていますよね。あの王様、読んで笑っている人自身のことですね。  
王様は私です、あなたです。そう、見える人から見るとみんな見えてしまう、判るんだ  
よね。そう、みんなばれている。本当は怖いんだよね。だからいつでも、人が見ていな  
くても美しく生きなくてはならない。見られていなくても全部ばれる。試練は神様からの  
試験。自分が書いた答えは神様に見られている、運命に見られている、見える人に見  
られている。

11/09/2004

多くの人はどうして幸せに気づかないで、不幸の穴に自ら落ちていくのだろうか？  
本当、幸せの海に泳いでいて不幸という釣り糸の餌に自分から食いつく人が多い。  
人間とは不思議なものだ。更に考えてみると人間は不幸せな自分が好きなんですね。  
思い出してみると私もかつてそうだった。苦しみや困難を抱えてそれに立ち向かっている時に自分の存在の確認が出来てどこか安心している自分があった。  
苦しみや困難が無くなったら自分を確認する何かが無くなって自分の実在感が返って感じられなくて、何とも言えない心の不安感が生じた経験が過去にある。  
現象(喜び、悲しみ、怒り、嫉妬、競争心なども含む)の背後で働いている「いのち」に自分の視点を置くとそういったものから解放される。やっとそういう感覚に立てるようになってきた。「現象の背後で働くいのちに気づけ」とは杉山会長(当時)がよく言っていた言葉だ。嫉妬とか悲しみとか不安とか怒りとか嫌悪感とか、そういうマイナスの感情や思考が働いている間はそのことが分かっていない証拠であることも分かってきた。ピンチは常に押し寄せてくるが、私の心は天風会に入った頃に比べれば80%ぐらいは穏やかだ。20%ぐらいはまだ雑念が残っている。神様からいろいろお試しがやってくる。「おまえ、本当に分かっているのか？これでどうだ！」という試練が目の前に現れてくる。本当、「どうしてこんなことが、今、起きるんだ！」と言いたいこともあるが、静かに全力で対処している。傍目には私はいつもゆったりとしているように見える。

11/14/2004

人はみんな幸せ。それに気づくのが幸せ、気づかないのが不幸せ。  
特に縁というものの幸せに気づかないで縁を生かし切れない人が多い。  
まあ、それでも人間いろいろ苦しいこともある。苦しい時は、動かない力が必要だ。  
動物は怪我や病気をすると土(大地)の上に丸まってじっとしている。大地には癒しの力があるからだ。人間も同じだ。大地の上でじっとして動かない力、それが本当の縁に出会う力を産む。

11/15/2004

試練はその人の器に応じて死ぬまで続くようだ。  
試練は最後に死練となり、死は師(本人にとっても、残される家族にとっても)となる。

11/16/2004

人間が美しいと感じる機能が神の働きだと以前書いたが、「どうして?」、「なぜ?」と疑問に思うという脳の機能も不思議だ。人間は当たり前「どうして?」と問うが、よく考えるとそんな思考機能は不思議だ。何も疑問を覚えずに現象をそのまま受け取るのが普通のはずだ。「なぜ?」が文明の進化に繋がるが、「なぜ、どうして?」、「私は何?」という疑問が人間を不幸にもする。コンピューターの演算回路をいくら高性能にしても、「なぜ?」という疑問は機械は持たない。合わせ込みの試行錯誤と解らないという答えは機械は出せる。

11/21/2004

人生、二つの生き方しかない。運気を変えるか、問題に取り組む自分の心を変えるか。もちろん運気が変われば心は付随して変わる。心が変われば付随して運気が変わる。どちらを選ぶか肚次第。

11/29/2004

「人生、そんなバカな！の繰り返し」と私はよく言う。

本当に毎日、「そんなバカな！」と予想外のことが起きる。

ひとつひとつ、乗り越えることしかない。より多くの「そんなバカな！」を平常心で乗り越えることがきつと魂の進歩に繋がると信じるしかないね。そのうち「そんなバカな！」と言えるほど儲かると良いね。いやきつと儲かる！！そして社会貢献だ！！子供が子供として生き活き楽しく走り回っている世界こそ大事な世界。

11/30/2004

『調和』。大自然、地球、宇宙はすべて調和を取るために動いている。

台風、地震、火山の爆発、すべては地球が自らのバランスを取るために起きる。

ただそれを今の人間の都合にとって良いかどうかだけで判断しているだけ。

バランスを取るための動きが調和の働き。因果律とは調和の働きのこと。

人生もまた調和を取るために因果の法則が働く。行ったこと、思ったこと、そのことに対して調和を取るために反応(現象)が起きる。特にマイナスの決心を一度するとそれを忘れても潜在意識がそれを実現しようと働く。プラスの決心をするとそれを実現しようと調和の働きが働く。一度決心したことを変えるには、最初に決心したその力より大きな力で決心し直さなければ人生の流れを変えられない。

人格とは、今その人が心で感じて考えていること。知識や修行やしつけの形ではない。

【今この瞬間あなたが考えていることがあなたの人格】

人は自分が考えるほど自分の人格は高くない。

【神人瞑合とは、まず人格が神人瞑合すること。】

12/06/2004

心身相関というよりも、肉体は心が現象化したものである。生まれたときの肉体の状態は、魂がその肉体を持った人生を通して学ぶべき必要な形として魂という四次元のものが三次元の形として現象化したもの。単純できれいな肉体の年齢現象を除いて大人になってから変化するのは、心の肉体への現象化。すなわち心のバランスと肉体のバランスは相関であり、心のバランスが優先だということ。

12/07/2004

日本人の心が最近変なのが多くなってきているのは、実は今の日本人は始めて人生を自分で考え自分で選択する魂のレベルに来ているからなんです。自分で選

ぶということの怖さを無意識のうちに感じている。それで心の迷い悩みが生まれる。選択したらそこから運命の流れが決まる、うまくいかなかったらそれが怖い。自分の選択によって運命が変わるということは素晴らしいことなのだが。引きこもることも、夢にチャレンジする事も自分の選択なんです。どちらでも選べる。選べるということは素晴らしいことなのですが、始めてのことだから怖いことでもある。。今までは神様の決めたとおり生きていけば良かったものを魂の自立への不安。小学生でもそうですよね、「今日着る服は自分で選びなさい」と親に言われれば何を着て良いか分からない。今は迷うほど服を持っている。昔は着る服も人生の服も少ししか持っていなかったので迷うことがなかった。自分で選べば他人の目が気にかかる。自分でパッと選べる子供もいれば、あーだこうだ迷う子供もいる。大人の心の世界も同じ。いつも親から、先生から上司から、または伴侶から、「こうしなさい」と指示・命令を受けて実行していれば安心する人もいるし、そうでない人もいる。魂の世界も同じかもね。みんな相似形だね。選択に迷う人もいれば自分勝手な価値観を持つ人もいる。みんなそういう段階の学びまで来ているという素晴らしい時代なのです。私は今の時代に、これから来る時代にわくわくしている。

12/15/2004

#### 心神身相関

神は宇宙霊と置き換えて良いわけです。で、天風教義を一言で言うところの一言ですね。宗教は心神相関を教え、現代医学は心身相関に気づいているわけです。

12/27/2004

最近思うに、私の勝手な仮説ですが、腰痛は本当の自分を生きていない苦しみが腰の痛みで表現されているのではないかと。もちろん社会生活を正しく暮らさなくてはならない必然として自分に嘘をついている場合が多いわけです。私がよく言うように「肩のこりは心のこり」と同じですね。女性の更年期障害はいろんなしがらみから解放されるための産みの苦しみかもね。まあ、医学的にはいろいろ説明があるけれど。

12/29/2004

今日の雪は良い雪だ。まるで一年間の空気の汚れを洗い流すようだ。雪は雨では流せない埃を吸い取って落ちてくるのではないだろうか？世界を変えるのは日本から、日本が変わらなければ世界は変わらないという思いがますます強くなってきている。それはうぬぼれとか特別民族意識ではなく、日本人に、無私とか捨て身とか肚とか覚悟がいるということですね。むしろ厳しい試練を通らなくてはならない。

テレビでニュースとかドキュメンタリーを見ているとしばしば聞こえるのが、「役立ちたい」とか、「(開発したものを)多くの人のために役立てたい」という言葉だ。アメリカなら最後に、「それで儲けたい」という言葉が付くが多くの日本人にはその言葉は付かない。そんな民族は少ない。

12/29/2004

仏教は心の哲学、神道は心の(大自然・神との)調和、キリスト教は心の導き、イスラム教は心の救い・・・なんて言葉が浮かんできました。さあ、どうなんでしょうねえ？

01/05/2005

神様がすることより人間がすることの方が理解できないことが多い。

01/06/2005

人生、やり直しができるという考えがあるが、私はできないと思う。

人生、取り返しはつかない。ただ、『心機一転』は出来ると思う。

01/10/2005

日本人にとって太陽は天照大神と言って神様です。しかし中東やアフリカの砂漠地帯では、太陽はすべてを焼き尽くす悪魔なのです。「所変われば品変わる」ですね。

価値観は場所や人によって「そんなアホな！」というほど変わる。これを読めば感動するだろうなあと思ったものが、全くの批判や怒りの対象になったりする。

人の感じ方、思い方というものは法則に従っているようだ。特に自分は親から十分に愛されて育ったと満足している人と、親に愛してもらえなかったと思いながら生きてきた人では、もののとらえ方が180°違うことが多い。親から(特に母親から)愛されてこなかったと思っている人は、しばしば自意識過剰的被害妄想の感情を生みやすい傾向がある。本当は観念要素の更改はこういうことに使うべきなのだが、自分の頭から生まれ出てくるその感情や思考が正しいと思っているから修正出来ない。それを修正する良い方法は何かないものだろうかとずーっと思案しているがまだ見つからない。天風会員であっても、そうでなくても、1年に一度や二度はそういう思考の人と出会い愕然とすることがある。去年は三度あった。今年も既に一件ある。昨夜のNHK BS放送で良い番組があった。結局、まず親が毎日、明るく楽しく笑顔で生きていくことだということに言っていたが。。。親が楽しいと子供が楽しい、その子供が大きくなって子供を産むと、その子供もまた楽しい。その逆もまた真なりで、それを家の文化遺産というのですよね。自分が家に伝わっている負の文化遺産を持っていると思うものがあれば、自分がそれを断ち切って、ギアの切り替えをして自分が楽しい家庭文化遺産を残す使命を担っていると思わなくては変わらない。ほとんどの人は、それぞれの何らかの問題を抱えて育っている。自分だけではない。自分が一番つらい人生を送っているのではない。みんな自分で切り替えなくてはならないギアを持っている。みんなそれを口にしていなくても。ただ似た経験を持っている人は似た性質(性格)を持っていることが多いと言える。

何かにムキに感動する人は、心の中に無理があるから、些細なことで簡単に切れる。

心に負の遺産を持っている人でそういう傾向を持っている人は多い。すべてを否定して何も感動しない人もいるが、そういう人より救いの道は見つけやすい。「一日10回、感動」ということは素晴らしいことだが、感動は静かではなくては。

二十代の半ばに、「一静を以て百動を制す」という言葉を占い師からもらったことがある。常に心の中の百動を一静で治めることにも繋がる。この言葉を最近思い出した。当時はこの言葉を人間関係での態度として覚えたのだが、今再び心の中の態度として蘇った。

01/15/2005



亭主A.「触らぬ女房に祟り無し！」

亭主B.「そんなことない！神様は触らなければ祟られないけど、女房は触ったら触ったで祟られ、触らなければ触らないで祟られる。」

ふーっ、女房持ちの亭主の苦勞が偲ばれる。

こんなこと書くと、また女性からの怒りのクレームが来そうだな。

えらーい先生の本によると、「男女は協力し合えても理解し合うことは難しい」と。

01/19/2005

人間誰でも自分が一番愛されたい、一番認められたいと心の中の本音では思っている。自分は二番でよいと思えばずいぶん楽になる。本当は一番なんて大人になれば無いのです。二番ならまだ良い方ですね。良くても三番が普通かも。家庭の中での自分の立場を見つめてみましょう。大人になっても自分が一番愛されていたという欲望がいろいろな間違いを生む原因かもね。人生の問題の解決は、いろんな教えの難しい言葉や観念や修行でなくこういう簡単な思い方の切り替えで大抵のことは解放される。

01/20/2005

最近、招待されて自衛艦に乗っている夢を2度見た。自衛艦が万一の事態に陥った時は私が指揮を取らなくてはならなくなると感じながら、(昔取った杵柄)、そういう私の能力を活かす事態が起こらずにただの招待客のままでいられることが一番良いことなんだと願って乗っていた。私が活躍しない、何もしない状態が続くことが良いことなんです。危機に際し胸躍り活躍する能力というものは、普段はぼんくらで一人孤独を自然体で味わっているものなんです。今の時代には損な性格だなあと思う。だから今は静かに技術職人として生きている。

01/24/2005

祭りやどんちゃん騒ぎは庶民のものだ。キリストや釈迦がどんちゃん騒ぎをした話は聞かない。まあ、無明なるものでも陽気暮らしは悪くない。

01/26/2005

人間は、ひとりひとりどうしてこんなに人生が違うのだろうか？特に思うのが、男と女の関係だよ。いつでもどこに行ってもそこで新しい相手(恋人)を見つける人間と、いつでもどこでもダメなのと何が根本的に違うのだろうか？心機一転いつでも相手を作る人と、そうでない人の本当の違いは何なんだろう？理屈はいろいろあるのだけれど、もうひとつ良く分からないなあ。心の切り替えがすぐに出来る人と、いつまでも出来ない人の差は何なんだろう？天風教義も心の切り替えの仕方は教えているのだけれど、違いの原因は教えていない。その原因が分からないから出来ない人はいつまでも出来ない。原因が分かれば対策が分かるかも。本当はもっとリラックスして行動すれば良いのに、馬鹿な考えをし過ぎてしまう。

01/30/2005

現代は、「子供を産む」と言いますが、昔は「授かる」という言葉を多く使いました。靈的に見れば「授かる」ということが正しい。昔の日本語は靈的意味を良く表している。靈的に、カルマ的に、縁的に、人生の課題的にお互い適合した子供を授かる。遺伝子の適合によって親子を証明するというのがなされていますが、魂的にもきっと同じようなものがあるかもね。良い悪いでなく、親子、夫婦は魂の適合性なんですね。

01/31/2005

NHKなどの歴史番組で、戦争の戦術を紹介や説明する場面で私ほど集中して考える人間は少ないだろう。まるで自分に与えられた課題のように、「自分ならこの場面でどういう戦術を組み立てるか」を全身全霊、真剣に考える。自分ならもっと良い作戦を考えられる自信を常に持っている。不思議だね。前世からの思考の癖としか言いようがない。女に持てる要素とは何の関係もない性格だね。そして今はそういう思考とは無縁の生活だ。やっぱり卒業というのはあるんだよね。そういう魂のレベルは卒業したんだと思う。いろんな力(権力とか金とか超能力)から解放されていくのが魂の成長というのは本当なのだろう。「(本当の)坊主、組織を作らず、動かさず」、の世界に入っているのかも知れない。

02/01/2005

鬱気質を他人が治すことは難しい。本人も自分が鬱気質だと理解していない。自分は正しい考えを持っていると思っている。いろいろ理屈はあるのだけれど本当にどうして心を病む人がこんなにも多いのだろう。「天は自らを助くる者を助く。」は真理なんですがねえ。それと大事な家族ですね。家族の愛情と熱意がないと難しい。他人にすがっても、永遠に回る風車のようなもので解決できない。そして風が止まると怒り出す。

02/04/2005

人を嫌う、憎む、嫉妬する、一緒にいると虫ずが走る、というような感情は心の病です。百人中百人が、そういう感情を多かれ少なかれ持つので、それが心の病だと誰も気づかないのです。そういう感情が発生しないようにすることは実際問題難しいが、少なくとも「この感情は私の心の病の発現だ」と認識することは必要だ。悟りとは、少なくともそういう感情を発生させない人のことを言う。(悟りの必要条件であって十分条件ではない)ちなみに権力意識やメンツも心の病ですね。病は闇から生まれる心ですね。

02/11/2005

心身相関とか心身一如と言われますが、私は「心身相似形」と言いたい。心身だけでなくすべて相似形なんです。肩こりも五十肩も腰痛も心の反映であり相似形の現象なんです。宇宙とも相似形なんです。だからひとつのことからいろんなことが見えてくるのです。

02/17/2005

「人は闇を恐れるのではない。光を恐れるのだ。人はパワーが無いことを恐れるのではない。パワーを持つことを恐れるのだ。」ということが「愛の帰還」という本に書かれているらしい。うーん、考えてみるとそうかも知れない。人は闇の中で不平を言いながらもその安定に安心している傾向はある。病氣自慢をしている入院患者なんかその典型ですよ。健康になったら頑張らない言い訳が出来ないもんね。変化を恐れるというのもそういうことですよ。

02/22/2005

プラニック・ヒーリングのセミナー二日目、隣の男が、「東京は今日、雨ですか？」と（東京は雨になりますか？という意味で）聞いてきたので、「今日、私は傘を持ってきていないので雨は降りません。私が傘を持たないで外出した時は雨が降らないというのは信念です。」と答えた。当然、「アハハハ・・・」と返ってきた。もちろん今にも降りそうな気配でも、その日雨は降らなかった。

02/24/2005

「すべては相似形」と書いたが、家庭での人間関係は会社での人間関係と相似形になると偉い先生は言っていた。ちょっとしたことにヒステリックになる人は、往々にして「ただ謝って欲しかっただけ」と言うことがある。本当はそれは親に謝って欲しかったんだよね。「十分にかまってあげられなくてごめんね。おまえが納得するまで愛して上げられなくてごめんね。でも本当はおまえのこといっぱい愛していたんだよ。ごめんね。」というように親に言って貰いたくて、そして言って貰えなくて、代わりに他人から「ごめんなさい」を聞きたくて、被害妄想的感情を正しい思考と思いこんで、その欲求不満を家族や他人にぶつけることになる。それが延々と続くのが心の病ですね。時に私とその犠牲者になるのはなぜだろう？私はそんなことにかまっていられる時間は無いのだから。

02/25/2005

人は、いくら勉強や修行をしても一番大事なことに気づかない。  
苦勞しても大抵は気づかない。それに気づかないと難しいなあ。  
それが業なんだろうなあ、そしてそれがまた業を生むんだろうなあ。

03/05/2005

ここ1ヶ月ほど前から、毎朝一度だけまだ意識がハッキリしていない朝一番に不思議なものを見る。何とも無しにいと見える。何？？と思って意識したら消える。そしてその日は二度と見えない。今までそんなもの見たこと無い。見ようとすると見えない。うーん、普通の人には神様を見たとか錯覚するかも知れないなあ？私はそんな単純ではない。それにしても何だろうなあ？薄く金色に輝くものは？電球の光が自分の額に反射して出来る自分の姿かも知れないし？人の魂が会いに来ているのかも知れないし？だったらうれしいな。自分のオーラが壁に映っているのかも知れないし。それにしても不思議なものを見るもんだ。でもこんなふうによく書くと、もう現れないな、きっと。だって今朝、意識したら現れなかったもん。

03/07/2005

かわいくて美人で生まれた人は、生まれた時からちやほやされているのが常の状態なので、自分がちやほやされていることに気づかない。

天国に生まれても最初から天国にいたので自分が天国にいることに気づかない。

そして隣や周りとの比較や勝手な思考によって自ら悩みや煩悶を作り出す。

心身相似形だから心が天国でなければ肉体も天国でなくなる。そして自分の周りに心と相似形の環境や人達を作ることになる。天国の中で自分だけ天国でないものを自分が作ってしまう。心は現象を創造するからね。私は死んで、今ここ天国に生まれていると思っている。特に私の故郷に帰ると、ここが天国でなくてどこが天国だろうといつも思う。天国を天国と知るのには心ですね。多くの人は、前の世界で死んで、今、天国に来ていることを知らない。迷いの心をひこづったまま天国で迷っている。

3/10/2005

人間、誰でも死んでしまえば、「ただの元人間」。

03/14/2005

人はなんでいつまでも同じことをぐじゃぐじゃぐじゃ悩むのかなあ？

結局、命がけで悩んだことが一度も無いからなんだろうなあ。

本当に命をかけて悩んだことがあれば大抵のことは悩むに値しない。

考えるべきこと、対処すべきことはたくさんあるが悩むべきことはたいして無いものだ。

それとあれだな、生涯をかけて追求するテーマを持っていないからなんだな。

03/15/2005

モラルは当然大切だが、「モラル原理主義」になると幸せは逃げていくし、世の中、おかしくなる。(原理主義とは、理論・理屈・べき論により人の考え方・行動を縛ることらしい。)許せることと許せないことの間にある「罰と許しのバランス」が悪くなっている気がする。

03/16/2005

人生は生きてだけで合格の人もある。生きてだけでは神様に怒られる人もいる。

この人の今生は、「前世のご褒美だな」とつくづく思える人もいる。この人の魂は生まれてまだ新しいのかなと思える人もいる。いろいろだけど素晴らしい。

03/19/2005

ある本によると「心(こころ)」の語源は、モンゴル語で「ここ」は乳房を、「ろ」はみずおちを意味して、それが合わさって「こころ」となっているという。90%まゆつばもんだが、解釈の仕方が面白い。

03/24/2005

「天上草原」という映画でいろいろ記憶に残る言葉があったが、「**負けることを恐れずに戦ってこい**」と子供を競馬レースに送り出す場面は良かった。

03/24/2005

すべては逆かも？この世は「この世」という名の「あの世」。「この世」は実は「あの世」で、「あの世」は実は「この世」。死んで人間が「この世」と呼んでいる「あの世」に来ているのです。ここは天国という4次元の世界だから思考(こころ)が現象化するのです。心の形が肉体の形に現象化する。天国に来ていることを知らないでいるから悩むのです。ひずんだ心は病という現象化を起こす。人間本来の形は健康なのです。なぜならここは天国だから。自然のままなら病は存在しない。そんなことを書いている本をずーっと以前に読んだことがある。最近私もそう思うようになってきた。想像したことが創造されるのだから天国以外の何ものでもない。プラスのことを想像すればプラスのことが生じる。マイナスのことを想像すればマイナスのことが創造される。問題は想像する方法に法則があるということですね。潜在意識における想像と顕在意識における想像との調和と強さがプラスの現象を生み出す。それが不調和であれば不調和の現象を生み出す。

03/28/2005

イスラム教原理主義、キリスト教原理主義は問題だと日本人ならたいの人は感じている。でも健康原理主義、菜食原理主義、道徳原理主義に正義原理主義、そして学歴原理主義持っていませんか？やっぱ、調和が大事かも。「和を持って尊しとなす」など聖徳太子の「十七条の憲法」を新しい日本国憲法の前文にして欲しいなあ。

03/31/2005

苦しみや悲しみはみんな持っているもの。ひとり黙って胸にしまって堂々と胸を張っていればよい。そうすればそんなもの持っていないように見える。安定打座を続けていると進歩する毎にいろんな現象が現れるが、その現象にいつまでも引っかからないようにするのが大事。苦しみ悲しみにも心が引っかかってはいけない。何事も黙ってしまっておくか、流すかどちらかですね。心がそれに囚われてはいけない。ひとつに囚われると他の事柄に対してもすべてそれと相似形の(マイナス)思考に陥る。で、どうすればいいって？天風教義でしょう。日々実践。形だけの実践では無いよ。常に心の中の実践(意識の修正)も形の実践と一緒にすればいいのです。心が一つのことには引っかかったまま形を実践するからいつまでも堂々巡りをすることになる。

04/01/2005

最近わけの分からない犯罪で新聞に、「天から声が聞こえたという意味不明のことを犯人は述べている」という言葉をしばしば見るようになった。天から声が聞こえるという現象は確かに存在する。それは天風教義のいう天の声と違って実際に声が聞こえるのです。その人の心や魂のレベルに応じたところからの声をキャッチするのだろう。天の声を聞くといってもまず自分のレベルを観念要素の更改で上げるのが先です。

04/04/2005

人生に安定を求めて安定が得られた人はいるのだろうか？

安定とは不安定さの中のいつ壊れるかも知れないぎりぎりのバランスの継続なのかもね。そしてその忍耐の継続だね。それは私の仕事、そしてあなたの夫婦関係？

04/05/2005

親に心が開いていない人は他人に対しても心が開かない。で、運命が拓かない。大抵の場合、その開いた心に応じて運命は人が運んでくるものだから。ただし命は人が運んでこない。それは天か、真我か、神様か、私は知らない。

04/05/2005

多くの人はずっと一番大事なものを逃げてきているような気がする。なぜだろう？そして大事でないものに夢中になってそこに心を逃げ込ませる。自分にとって一番大事なものに挑戦している人が幸せなんですよ、たとえそれが人から苦勞と見えても。夢中で苦勞している時が幸せの真っ最中。

04/07/2005

男は小さい時から、男と女は違う生き物だと思っている。

女は小さい時から、男と女は同じ人間だと思っている。

どうしてだろう？戦後の教育のせいかなあ？私は全く違う生き物だと思うなあ。

ある女性は70歳過ぎてから男と女は違うということが分かったと言っていた。

かつてラジオで誰かが、「男と女は人類と麺類(雌(メン)類)」ほど違うと言っていたと私はしばしば言うのだが。女は男にとって宇宙人だとも言う。

利己的遺伝子に書き込まれたプログラムが基本的に違うのだと思う。90%程度は利己的遺伝子理論で説明が付くが、霊性判断は利己的遺伝子を越える。

100%利己的遺伝子の声のままに生きている人も多いが、霊性判断の割合を増やしていくのが霊性的、人間的成長だね。

それぞれが持つ男と女の間の道徳観念の大抵は、利己的遺伝子に書かれたプログラムである。そのことを分かってもえられないんだなあ。

04/14/2005

シベリアに抑留された人の話だが、「俺はもうダメだ」と一度でも言った兵隊(抑留者)は一人も生きて帰れなかったと。常に希望と信念と積極思考でなければ生き延びられないらしい。

04/15/2005

NHK教育TVの「心の障害者」の番組の録画を見ていたら、

「あれ？これなら俺、学習障害者だ！」と思った。今日、日曜行修会から帰り、みんな心の障害者ではないのか？正常者はどこにもいないかも、なんて思いながら帰ってきたら、自分もその一人だと分かった。

04/24/2005

世界遺産が次々に生まれている。地球を世界遺産にすればよいのと思うのだが。

04/26/2006

地球にあるすべてが自分のものとして何が欲しいかと、何度も頭の中で考えてみると、実は何も欲しくなくなる。目の前のものだけで満足する。例えば普段最高級のステレオで良い音で音楽を聴きたいと思う。世界中にあるどのステレオ装置も自分のものだと思うと手にしている小さなラジオの音で満足する。自分が持っていないからより良いものが欲しくなる。すべて自分のものになると比較するものが無くなる。そうするとすべてどうでも良くなるし、どんなものでも目の前のものに満足できる。欲を捨てるのでなくすべて自分のものだと思うほうが悟りが早いかもね。

05/06/2005

更に考えた。人は死ぬのが怖い。なぜだろう？それは「命」が自分から離れていくのが怖いわけですね。それは「命」が自分のものではないと思っているからではないか？「命」も自分のものだと思えば肉体と命が離れるのは怖くなくなる。欲しいということはそれが自分のものではないからですね。命が欲しいということは命は自分のものでないと思っているからということになる。

05/07/2005

高校時代に「自分のような苦しみを味わう人間を作りたくない。だから自分の子どもは作らない」と強く思ったものです。病気の苦しみとか人生を賭けた戦いに負けて死にかけたりいろいろあって少年・青年期というものは心の暗黒時代であった。(もちろん人からの見た目では明るく朗らかに生き活きいとしか見えていなかったが)同じ経験を再び味わうなら死んだ方がよいと思っていた。最近いつの間にか、心のパラダイムが変わっていることに気づいた。全く同じ親、まったく同じ環境、まったく同じ経験、まったく同じ苦しみを味わうとして、もう一度同じ人生を生きても良いと思い始めた。いろんなことを本や人の話で勉強していても同じ人生を繰り返すのはもう嫌だと思っている限り実は本当の「人生」を、「いのち」を分かっているのではないだろうか？そんな気がするようになってきた。我ながら本当に不思議だ。

05/10/2005

今、日本で生きている多く人は自分の人生を自分で考え自分で決めるという初めての段階にいる。人生の中でいろんな選択があるが、右を選んでも左を選んでも結果は実は大して変わらない。なぜなら人生は心のレベルに応じるのだから。選択の結果でなく自分で考え自分で決めるということに魂のレベルの意味があるのだ。魂がもう一段上にある人は使命を背負って生まれてきているのだろう。

05/12/2005

なぜもう一度同じ人生を経験しても良いかと思うようになったかという、誰でも人生に起きる事柄に意味を求め。成功、幸せ、健康をね。  
人は言う、「私を幸せにしてくれる人に会いたい」と。幸せが主で人が従でしょ。  
真理は、人生に意味があるのは事柄ではなく出会いの縁に意味があるのです。  
人生は、『縁』が主で『事柄』は従なのです。これがなかなか分からなかった。  
「三年修行(事柄・事象)するより三年師(縁)を探せ」という昔からの言葉はそういう意味でもあったのですね。  
私はあの時の祖父母にもう一度会いたいし、両親にも、あの時の友人にもう一度同じに会いたいね。そのための苦勞、いいんじゃない。  
本当は感謝ってそういうことなんじゃないかな？  
「両親に感謝しています。でも同じ人生はもういいです。」というのはまだ本当の感謝ではないかも知れないなあ？

05/14/2005

一つのことを極めるには一生はあまりにも短い。だから私はまた人間に生まれたい。悟って人間を卒業したいなんて思わない。知りたいこと、やりたいこと、山ほどある。

教義本にあればしてはいけない、これをしてはいけないと書かれていても自分の目の前に欲の満足対象を差し出された時、ぐっと我慢できるだろうか？恐らく出来ないのではないだろうか？自己制御のためにはやはり生き方の指針となる親や祖父母や師に直接出会う必要があるのではないだろうか。いざという時に役立つ言葉は親や師から直接聞いた言葉だろうと思う。

05/15/2005

尼崎事故で怪我しながらも助かった人達の「生き残った罪意識」、不思議だなあ？と思う。太平洋戦争の後でも特攻隊にしながら戦争が終わったため死ねなかった兵士の罪意識。そんな罪意識は他の国にもあるのだろうか？そんな話、聞いたことがない。日本人特有の意識構造なのだろうか？本当に不思議な罪意識だが……。

05/25/2005

警察の組織的税金の横領はどうして誰も逮捕されないのだろう？  
内偵という名目で公金を使っての度重なる女買いもある。  
警察に正義・公正・正直・謙虚・反省というものは昔も今も存在しない。官僚組織だからね。官僚組織になったものは何であれ、天国から遠のく。警察官で天国に行けるのは、田舎の駐在さんだけでしょう。普通の警察より公安警察のほうが横領もみ消し、本当はもっと凄いのだが決して公にされることはない。  
何であれ組織内輪の論理を善とし正義とした場合は大きなカルマとなる。

05/27/2005



幸せの扉はノブを回して外側に開けるんだよ。みんな内側に引っ張るからいくら引っ張っても開かない。どうしてこの扉は開かないんだろうといくら考えても本当は意味がない。

05/28/2005

「感動とは感じて動くこと」と説く人は多い。私は逆だ。「動いて感じる」のだ！動かなければ感動には出会えない。動かなければ学べない。動かなければ幸せに出会えない。縁は動くことで出会える。本物は動かなければ会えない。時間とお金が許せるならまず動いてみることだ。そうこうするうちに落ち着いてきて当たりはずれは少なくなる。

06/01/2005

道は遠い方が良(い)い。

06/07/2005

結局、人は「健康と幸せ」という餌がないと「謙虚と奉仕」という世界には入らないということか。「私は肉体でない、私は心でない、私は魂である」と宣言すると健康と幸せとは何だ？身体や心が健康や幸せでなくても魂が幸せということはあるわな。

06/082005

自分を守ろうとして本当の自分を生きることが出来ず、石橋を叩いているうちに歳を取り、人生の閃きを得ずしてあの世行き。なんてことにならないよう「今までよく私を守って頑張ってきたね、ありがとう」と過去の自分に声をかけ、「これからは自分を生きるから、自分を守ってくれた過去の自分よ、さようなら」としよう。

06/12/2005

「肉体の歓喜の極みは心を素通りして魂に直接接触れる」ということかもね？しかしそれは心がかかなり熟したレベルに達していないと出来ないことではあるな。平凡人の価値観でそれをすると地獄行きかもね？凡人は生涯知る必要のない世界であるし、知ることのない世界であるし、理解できない世界だな。

06/13/2005

楽器演奏でも音を出している間はまだ2流ですよね。音が喜んで楽器から飛び出てくるのが一流。仏像彫刻でも彫っている間は2流です。自然に手が動いて仏が出て来るのが一流ですね。クンバハカもそうですね、クンバハカをしている間はまだまだ、クンバハカは向こうからやってこない一人前ではない。もちろん私はまだ一人前ではない。ただ違いは分かる。

06/15/2005

天(神)の法則を知り自分のエゴのためにそれを使うと何生にも渡って悪いカルマを背負うことになるという。そういえば「命」もそうだよな、天の法則に従って命＝自分は生きている。ということは、「命」を自分のエゴのために使うと悪く重いカルマを作ることだな。だからみんな病気とか不運とかのカルマを持っているのだ。ナツク！！自分の命を自分のために使う、それは当たり前のことだ。しかしその当たり前のことが実は間違いなのだ、きっと。

06/17/2005

100%人のために、または100%自分のためにというのは何でも無理があるかも。80%を自分のために20%を人のために、または80%を人のために20%を自分のために、どちらかなんでしょ。バランスなんですね。私は80%を人のためにが目標ですね。

06/21/2005

そういえば美人で母性本能の強い女性を見たことが無い。それも利己的遺伝子の戦略の一つなのかな？

06/30/2005

日本は不思議な国だ。  
「仇討ち御法度令」、「喧嘩両成敗」なんてルールは日本だけだ。  
なぜそんなルールが出来たのだろう？  
教科書的答えは知っているが良く考えてみると分からない。  
アメリカという国家は10倍返し、百倍返し、千倍返しの報復の繰り返した。  
日本ほど復讐という実行が無い国はない。やくざの世界にはまだあるが。  
それってアメリカはやくざの国ってこと？

07/04/2005

私にはどうしても理解できないことがある。それは弱い者いじめする奴、女を殴る奴、子どもを虐待する奴、どうしてそういうことが出来るのかなあ？  
それと分からないのは戦場に女兵士や女性記者を送る奴、男女同権とはいうけれど女を戦場に送ってはいけない。どうしてそういうことが出来るのかなあ？  
男女は何でも同じという人も多いがそれは女も戦場で死ぬことも意味する。

07/06/2005

もうひとつ理解できないことがあるなあ。何で人間はホラー映画を作ってあんなものを多くの人が見るのだろう？理解できないなあ。

07/07/2005

鬱病や閉じこもりがとても多い。彼らの中で身体に大きな病気を同時に抱えている話は聞いたことがない。身体の病気になっているとそういう心の病気になっている余裕がない。大きな病気になった後で悲観して鬱病になっている人はあるかもしれないが。引きこもっていて同時に病院に通っているという話は無いなあ。

07/10/2005

一定の歳になると健康のために何を食べるかでなく、何を食べないか、どう身体の中から出すかの方が大事になる。今までのまま食べていると重大な病になるのが分かる。呼吸も出すのが先、身体も同じく入れるより出すのが大事。心も出すのが先。何事も変わるべき時に変わらないと、そして経験すべきことを経験すべき時に経験しないと問題が起きる。

07/15/2005

高校を出ることで中学の数学を使えるようになる、大学を出ることで高校の数学を使えるようになる。大学院を出ることで大学の数学を使えるようになる。私は言ってきたし、実感してきた。ヒーリングも同じだな。上級編を受けたことで基礎編を使えるようになった。上級編は受けたがそれはまだ使えない。何でも同じだな。

07/26/2005

霊性満足には嫉妬が存在しない。勝負に勝った満足、成功した満足、そういう相対世界での満足には他人からの嫉妬が多かれ少なかれ生まれてくる。しかし霊性満足の顔には人から見てそこにすがすがしさが感じられるだけで嫉妬の感情は誰にも湧かない。天風教義や夏期修練会は、そういう霊性満足という品格を身につけるためのものだ

07/29/2005

何でも甘くないなあ！！！！

07/30/2005

「あーだ、こうだ」という思考や感情を自分の行動基準にしていると何も変えることは出来ない。

08/03/2005

毎日、穏やかに生活できることは幸せだが、毎日自分の全能力を発揮しなければ生きていけない生活を送っている人はもっと幸せだ。私は幸せだ。

08/04/2005

20世紀前半は生存が課題だった。後半は生活が課題だった。  
21世紀前半は家族が課題なのだろう。  
だから今、多くの人が家族の問題で勉強しなくてはならない時代。

その流れで行くと21世紀後半は「自分」が課題になるのだろう。  
今の大人は、「生活」のために本当の自分に蓋をして生きている人が多い。そして自分に蓋をしていることさえも気づかないでいる。21世紀後半はそういう生き方は「心の封建主義(自分の自分に対する封建主義)」として生きられなくなるだろう。  
08/06/2005

人生は「そんなバカな！」の繰り返しと私は言うのだが、  
人生(運命)はいつも不意打ちだな。  
どうして神様は今頃、私にそういうことを！？と思うことあるわなあ。  
08/14/2005

本屋で雑誌を立ち読みしていたらこんなジョークがあった。  
『この世の中に絶対に存在しないもの。  
それはドイツ人のコメディアンとアメリカ人の哲学者。』  
08/14/2005

一つのことから(一つのもの考え方から)芋づる式に問題が発生する。  
そうなってしまえば元を解決すればすべて解決するかというとそうではない。  
元と一緒に発生した問題を一つ一つ対処しなくてはならない。  
08/19/2005

冷たすぎる飲み物は胃に負担をかけるのが分かる。うーん、そういう歳になったのかな？天風先生の食べ物に対する教えや「病気にならない生き方」の内容を考えないといけないな。歳と共に、食べる物、食べ方を考慮しなくてはならない。  
08/25/2005

天風教義を学ぶ際に、天風先生の残した教えが根っこ、杉山会長(当時)や山田務名先生から学んだものが幹、仲間や他のセミナーで学んだものが枝葉。それらみんな一緒に一つの木だな。そして全部ひっくるめて『出会い』こそが師そのものだな。修練会は、同じ道を歩いている仲間との出会いこそが大きな師だな。  
08/28/2005

アメリカのハリケーン被害、うーん、去年も大きいのがあった。イラクで罪無く殺された人達の復習だな。アメリカ人がメキシコに行くと水に当たって下痢をするそうだが、それをアメリカ人は「インディアンの復讐」と呼んでいると聞いたことがある。

08/31/2005

自民党の思考、民主党の思考、他の党の思考、それぞれ型にはまっている。選挙は選択だが、自分の思考が型にはまっていけない。選挙のワンパターンの発言を聞いていると人間は型にはまると「自分は正義」と錯覚する。

09/08/2005

日本人男と中国人女との会話

中国人、「(中国と日本の)戦争についてどう思う？」

日本人、「うーん、男と男の戦争ではなく、男と女の戦争だったら良かったね」

中国人、「男と女の戦争には鉄砲ではなくてコンドームが必要ね」

日本人、「その通りだ！」

09/09/2005

どうして恵まれた人ほど心の病になるのだろうか？

09/12/2005

中秋の名月、毎月ある満月の単なる一つと思いきや、見上げてみると、「あれ！違う！やっぱり名月と言われるだけの違いがある！」

09/18/2005

「どうしてそうなるかなあ？」と運命というか天命というか見えない力の不思議は  
確実にあるわなあ！！

09/26/2005

健康の元はいろいろな面があるが、食べ物に関しては、「少なく、美味しく、楽しく」  
だね。

09/30/2005

毎日をどう生きるかを学ぶには鍵山秀三郎氏が良い。生まれた意味、日々の問題の意味を学ぶには飯田史彦氏が良い。鍵山秀三郎氏は本当の坊主だな。(世間的見方では坊主ではないが)俗界を修行の場としている。本当の坊主というものは非常に少ない。世間的意味での坊主の中で本当の坊主は中野東禅氏と対馬宗訓氏以外に私は知らない。テレビでほんの少し出た熊本の高千穂神社というまあ小さな神社の宮司の自然な立ち居振る舞いを見てびっくりした。神道も大したもんだ。

09/30/2005

巨人は各チームの4番打者をお金で獲得してうまくいかなかった。当然だ。ならば、阪神と巨人、チームごとそっくりトレード交換すれば面白いのに。そんなことしたらどうなるのだろうか？見てみたい！

10/01/2005

人間が心や肉体の病になった時、宇宙意識というよりむしろ地球意識に戻す必要がある。肉体は地球の物質で出来ているのだから。危篤状態の病になっていて宇宙意識が入ってきて病が突然消えたという話しは聞くが人工的にそれは作れないもんな。肉体を生きたまま一度地球に戻すということが大事かも知れない。砂風呂なんかはそういうことだね。野生動物が怪我をすると土の上にはずーっと丸くなって座るのもそういうことだな。肉体を大地の中に入れれば自動的に細胞は反応する。まずはそこからだな。それから徐々に宇宙意識へと心を成長させるのが良い。この二段階方式はどっかでやっているよ。縁があれば出会える。

10/03/2005

人間の最大の過ちは、「私は正しい」と思う心。これは良く聞く言葉だが真理だ。

10/06/2005

「エネルギー保存の法則」知っているよね。エネルギーの総和は増えない、減らない。心のエネルギーも同じ。マイナスにエネルギーを使うと当然プラスの創造エネルギーは減る。マイナスの思考に心のエネルギーを使うのはもったいない。その分、自分の未来を拓くプラスのエネルギーを失っているのだから。

10/06/2005

「死」は、「人生の卒業」という言葉もあるけれど卒業なら良いけど強制退学の場合もあると思うけどなあ。それにしても自主退学はいけないよ。

10/08/2005

人は(自分にとっての理想がどこかに存在すると思って)存在を求めるが求めるものは存在しない。出来ることは(目の前にある)存在するものを受け入れることだけだ。しかしある日突然、「どうして今頃になって？」とかつて求めていたものが現れることはある。人生というものは、ほんと、不意打ちだな、そういうことはあるが、またそれを求めると現れない。不思議なものだ。

「求めよ、さらば与えられん」という言葉があるがそれについては私は実感が無い。むしろ「忘れていたら突然与えられる」という方があるなあ。

10/10/2005

私が見るにある種の人にとって、または日本に生まれている多くの人にとって今世のこの人生はおそらく自分で考え自分で決める範囲を持っている初めての生だ。だから右を選ぶか左を選ぶかは大きな違いではない。それを自分で決めることが大事なのだ。選択の結果に対する守護霊や守護人はちゃんといるものだ。だから安心して選択して頑張れば良いだけなのだ。本人が選択しない、頑張らないでは守護霊にとってもいかんともしがたい。そうそう、頑張らないという選択も出来るがその結果は自己責任だな。頑張らないという選択が出来る日本に生まれていることは幸せなことだ。

10/10/2005

人が長く生きるには苦勞か使命を負わなくてはならない。  
苦勞を背負えば使命は消える。使命を背負えば苦勞は消える。  
消えるということは意識から消えるということでは無くなるということではない。

10/18/2005

本当の神様の前では、悩むことも何かを求めることも、その次元の低さに恥じ入り出来ない。富士山頂に登ってご来光を拝む時、何かをお願いする人はどのくらいいるのだろうか？それと同じ。それが分からないで、神様に「私に幸せをください、健康をください、繁栄をください」と求めるのが盲目、無明ということだろうな。

10/19/2005

40歳過ぎて大きな病気や試練に出会うのは、結局のところ「感謝」と「謙虚」を学びなさい、身につけなさいという天からのお示しだな。大きな病を持っている人で感謝と謙虚を持っている人というものを見たことがない。

私も「アキラは感謝が無い」と兄によく言われたものだ。確かに今になるとそう思う。謙虚ぶったへりくだりを無意識に演技する人はいるが、そういう人は何かの時に急に手のひらが返る。これも傲慢の表れですね。謙虚は呆けても謙虚でなくては本当ではない。

10/22/2005

本は読んだほうが良い。以前から私が言っているのは、「本はまんじゅうの皮である、まんじゅうそのものではない」と。別な言い方をすると、「本は地図である。町そのものではない」と。地図を見て町が分かるはずはないが、分かったつもりになる人は結構いるものだ。地図は指針であり参考であり全体像の簡易的表現である。しかし感動とか味わいとか手に触れるとかの実態はない。

10/25/2005

富士山頂でご来光を拝む時や神に出会った時、感謝と感動(歓喜)しかないのではないだろうか?『光』は一般的に可逆的である。スピリチュアルの世界でいう『光』が同質のものであれば、ご来光や神様との出会いに感動するのであれば、先に感謝と感動(歓喜)をすれば『光』や神様がやってくることになる。これを可逆という。

うーん、「感謝と歓喜という感情をより多く持てば宇宙霊の与えたもうは云々」は真理かも。うーん、これは偉大なる仮説だな???

10/26/2005

ひとつ減らせば良いのに一つよけいに食べてしまう。それが太る原因だな。

11/08/2005

朝は行事だな。朝起きて、トイレに行って、養動法、安定打座、再びトイレ、それから風呂に入り、歯を磨き仕上げに鏡の前でいろいろ言葉をかけ甦りの誦句を唱えプラナヤマ呼吸法をして自己暗示をかける。これ毎朝の私のリズムであるし、一日の生活を始めるための大事な行事だな。このリズムを壊すと便秘になる。家族を持っている人は家族一緒に朝食を食べるのも大事な一日の行事だな。そういう行事が崩れるところから心のバランスも崩れる。毎朝の普通の行事を大切にすることが平和だな。

11/10/2005

死ぬ日まで死ねない。

11/14/2005

世の中、巷いろいろ言葉があるが、

「宇宙が私(または貴方)を誕生させるために137億年をかけた。

そして私(または貴方)が生まれるために宇宙は137億年を必要とした。」

これが分かると他に何が必要というのか?

11/14/2005

今、日本に生まれ、生きていることは本当に幸せなことなのに、

どうしてそれが分からないのかなあ?

今、私たちは自分の目で歴史を見ているのだから。

11/18/2005

「人は、人生を楽に生きられる方法をひとつでも多く手に入れることが幸せに繋がる」と人から聞いた。うーん、確かに。天風教義もその一つだな。霊能者からアドバイスを貰うのも一つだな。宗教もその一つかも知れない。スピリチュアリズムもそうかも知れない。なんやかんや言っても修行というものも楽に生きる方法を模索しているのかも知れないな。

11/28/2005



女は45歳から48歳の間が大きく運命が変わるか、それとも変えるか大きな転機だ。45歳ぐらいまでは、心の進化についてそう大きな差はないが、それからは別の生命種かと思われるほど差が出て来るみたいだ。男はどうだろう？何歳位で差が大きく開くのだろう？30代半ばだろうか？この時代に少なくとも何かの小さなプロになっていないと先は難しいかもな。それとも51歳から54歳ぐらいだろうか？この年齢で過労死する男も多いし、大病するのも多いような気がする。私も正直、今、同窓会があっても出る気しないな。歳と共に歳が離れていくような感じがする。変えられる人間と変われない人間、この差は大きいな。

11/28/2005

楽に生きるとは、結局何らかの方法で自分の意識を一段上に上げることだ。自分の意識が上がれば今までの問題は消えなくても上から見下ろすことが出来る。そうすると楽になる。そうすると周りも変わってくることもあるということですね。小学生の時の足し算の問題が難しかったのがいつの間にか難しくなくなるのと同じだ。自分の意識が上がらないといつまでも同じ問題に取り憑かれてひたすらぐるぐる同じ所を回ることになる。

12/01/2005

この世は多重構造。地球という一つの画面にたくさんの番組が同時に映っているようなもの。一つの番組の出演者が別の番組を見て頭に来ても仕方がない。地球という星にそれぞれ違った魂の集団が同時に住んでいるということ。やくざが刺されて死にかけた時の臨死体験というものは聞いたことがない。やくざの世界や世界征服を企んでいる世界資本の金融グループ、同じ地球という三次元画面に映っている別次元の世界だ。でも同じ三次元だからその気になれば別の世界に移動できるのが地球の特徴かもね。毎日「あーだこーだ」と悩んでいる世界と毎日元氣溼刺の世界も同じに映っている別次元の世界だがその気になれば、[こっち]から[あっち]に移動できる。

12/07/2005

やっぱり本物はいいなあ、しかし本物は滅多にいない。  
本物は一言一言に無駄がない。  
本物に出会わなくては、そして自分が自分なりの本物にならなくては。  
偽物は見た目にこだわる。根が浅いということだね。  
やっぱり人間、顔だね。顔にこだわらなくては、そして顔を見る力が出来ない。

12/09/2005

教えは心の素直でない人に教えても意味がない。教えの技にだけ意識がいくから。新しい教えや知識は、自分の過去の知識で評価や価値判断をすべきでない。まずはそのまま受け入れなくては、そしてじっくりと過去の知識と比較検討することが大事だ。過去の知識で分からないことはそのまま受け入れることが重要だ。新しい知識や経験はすぐに知ったかぶりしないで自分の中で熟するのを待つことも必要だ。自分の中で心や知識を黙って熟させるということが出来ない人が多い。

12/14/2005

素直でない人は自分が素直でないと思っていない。私もかつてそうだった。  
身体の弱い人やいろいろ病気を抱えている人で素直な人を見たことがない。  
やっぱり心が先だな。身体が心に反応している。  
「心が身体を作る」というのは本当だな。歳と共にそれが分かってくる。いくら  
歳を取ってもそれが分からない人も多いけど。  
ただ素直だからといって人生が順調とは限らない。みんなそれぞれ学びのために  
試練がやってくる。

12/15/2005

貯金をするのは、いずれそれをはき出さないといけないような日が来ることを魂は  
知っているから貯金をするのだろうか？それとも貯金をするから、それをはき出さな  
くはならない運命が来るのだろうか？どちらだろう？私は貯金が無くても不安が  
無いのは、常に何とかなるということ私の魂が知っているからだろうか？

12/20/2005

人はすぐに健康になる方法を、すぐにお金持ちになる方法を教えて貰いたがる。  
そんな方法はどこにも存在しない。その逆は存在する。すぐに病気になる、貧乏  
になるのは簡単だ。

12/20/2005

多くの人は、過去の自分が作り上げた枠の中で仕事をして、枠の中で勉強して、  
枠の中で考えワンパターンの感情に走る。常に自分の枠を越えて挑戦しないと  
進歩は無いのだが。自分を守ろうとすると結局何も得られない。これは戦争も人  
生も同じだな。過去の蓄積の上に積み重ねようとするのではなく、過去(成功やトラ  
ウマなどプラスもマイナスも)を捨てる勇気も必要なのだ。

12/30/2005

仕事は、「一難去ってまた一難」の切れる事なき連続だね。  
仕事はすべからずそうだね。どうしてか知らないけれど、難が切れることはないね。  
本当に、難 有り だね。有り難いことだ。来年も、「難有り」でスタートだな。

12/31/2005

頭で考えないでただ流れのままに進んだものはすべてピタッピタッと上手く決まる  
のに、頭で考えて決めて動いたことはいつも何か引っかかる結果になる。  
何故だろう？本当に不思議だ。

01/04/2005

神様は何十万年、何億年何も変わらずに同じ立場に立ち、同じことをしている。  
退屈だろうな。人間はいろいろ変化を体験して自分自身を変化することが出来る。  
神様になるより人間のほうが面白いな。

01/09/2006

出来る人間にはそのバックに文化背景を持っているものなんだな。裏に文化を持たない人間の仕事は一時いくら規模が大きいとしても結局は浅い。文化とは絶対積極心(人と競争しない、比較しない)で作る感受性を育む根っこだな。

01/09/2006

どうして分からない奴がこんなに多いのかなあ？どうしていつまで経っても分からないのかなあ？きっと人間は無明だから生きていけるのかも。自分の言っていること、考えていることやってきたことについて本当のことを知ったら恥ずかしくて生きていけないだろうな、きっと。

01/12/2006

一番大事なもの？それは健康。いえ違います。  
大事なもの、一番は家族、二番は健康、三番が仕事。  
この順番で大事にしていない人の話しは？マークで聞いて間違いはない。  
但し多くの人の命を背負っている時はこの順番は逆になります。

01/24/2006

男と女の相性では「幸せのピットンコ」と「学びのピットンコ」は一緒ではないのかも。  
大抵の夫婦は「魂の学びのためのピットンコ」なのかな？だからいろいろ課題がある？

01/25/2006

暖かい布団で毎日寝ていると、なんとなく精神の墮落を感じるのは何故だろう？  
この冬は始めて12月から掛け布団に毛布を掛けている。今までは1年の内最も寒い  
2週間か長くても一ヶ月ぐらいしか毛布は掛けなかったのに。

01/26/2006

仕事とは変化に対応すること、人生とは自らを変化させることだな。  
自分を変化させようとしないで運命を変えようなんて無理だな。  
自分が変わらなければ運命は変わらないのに歳と共に変わる勇気が無くなるし、  
「自分は正しい」とより固着するようになるなあ。

結局、人格とは「聞く力」、そして「聞いて変われる力」だよな。

しかし凡人にはこれが難しい。

人の話を聞かない人ほど自分は人の話を聞いていると信じ込んでいるからなあ。

01/30/2005

冬は少し寒く、夏は少し暑く、懐はいつも少し寒い(いつもちょっと貧乏)のが健康の元かも。こないだ厚着したら暑くて汗が蒸発しなくて汗が冷えて風邪を引きそうになった。ちなみに私は小さい時から温度の変化に弱い。

02/01/2006

結局人間の価値は理性を失った状態で身体がどう反応し行動するかだな。茫然自失した時、そこでは知性も教養も肩書きも財産も何の役にも立たない。だから私はモンゴルの大草原が好きなのだ。そこでは素の自分しか存在しえないから。都会で価値あるものが何も価値が無い状態で初めて「いのち」が輝く。日本の中では素の自分を見るということはほとんど不可能に近い。欲と比較とモラルだとか倫理だとか生きがいだとか能力だとか思考の中にどっぷり浸かっているから。モンゴルでは何を考えようが、どのように理性を働かせようが馬や羊が言うことを聞いてくれなければ意味がない。大自然と自分、それ意外に何も存在し得ないのだから。日本の中で生活する上でもそういう価値基準をほんの一部でも身につけておくことで人生はとても楽になる。

02/07/2006

大学時代の英語サークルの文集を開けてみた。各人への評価があった。私への評価は、「すべて乗り越えているようですべてポカポカの地獄を知った神様」とある。「あはははははは・(何も変わっていない！何も脱皮していない！)」と笑ってしまう。

02/082006

私はいつも『見えざる計らい』に助けて貰っているけど、最後の土壇場で助けて貰える人と助けて貰えない人の差は何なのだろう？うーん、考えてしまうなあ。

02/14/2006

「人生は、意志と知性で作っていくもの」と信じて生きている人がおかしくなるのかも。「おっ、こいつ少し丸くなったな！」と久しぶり会って見ているとやはり苦勞をしていた。30年経ってもその知能指数の高さゆえにバカを走り続けている奴もいる。それもバカの輪が一つ増えて。人生は知能ではいかんともしがたい高度なものだな。

02/14/2006

「無事、これ名馬なり」ということわざが歳と共に重くのしかかってくる。やっぱりそうなのかも知れないなあ。

02/21/2006

人間は目の前に生じる課題を一つ一つ全力で最善で処理することの連続だけだね。結果の大小では無いのです。松下幸之助の結果も一凡人の結果も価値は同じなのです。問題に対処する心が魂の格なんです。

02/28/2006

王様は人と競うようなことはしない。何かを極めようとするテーマを持つことは大切だ。しかしそれを人と競っている間は二流だ。王様は人と競わないが、国を守るため戦争に勝つことは考える。自分個人が勝つことは考えない。

03/05/2006

「考えてみます」、「検討します」という答えが人から返ってきたときは、「あー、この人は運の無い人だなあ」といつも思う。運はパッとやってきてパッと去っていくものだから。パッと決めたものと、一日または数日考えて決めたものが同じ結論でも、そこに働いている「いのち」が違うんだよなあ。要するに、一日考えることは、さしみを一日経って食べるようなものだ。科学的栄養素は同じだけど。さしみに働いている「いのち」が違うんだよなあ。運の良い人は、パッと決めるモンね。パッと決める勇気のない人は幸運を掴めない。これ法則だね。いつも失敗を考えるからね。「うまくいかなかったら、失敗したらどうするの？」と言うけれど、そういう感を磨いていなければ失敗するわな。そのための安定打坐でもあるな。人の気持ちの上から考えても、提案する方が一生懸命考えて出した時、「検討します」という答えが返ってきたら次から一生懸命考えなくなるモンね。そうして次に運を運んで来てくれなくなる。運は生きた魚と同じだから、魚屋さんはパッと美味しく食べてくれる人の所に持って行く。まあ、たまには新鮮すぎてあたることもある。美味にはリスクはある。しかし霊性心からの直感が働くようになるとリスクは無くなる。

03/20/2006

40歳過ぎても貧乏だったり、病が治らなかつたりするのは、原因は自分にある。自分の発する言葉や思考が貧乏を生んでいることに気がつかない人が多い。それらの理由は自分には無く、人にあると言っている間は、病と貧乏は続くな。それにしても人は、「幸せになりたい」と思いながら、どうしていつもいつも幸せにならない選択をするのだろうか？私には不思議だ。聞く耳を持たない間は何も変わらないな。

「客が入らないのは客のせいだ」と思っている近く中華料理店と同じだな。いつも閑古鳥が鳴いている。それでも何も変わろうとしない。不思議だなあ？と私はいつも中を見ながら前を通り過ぎる。

03/31/2006

「己を忘れてものを見よ、ものを忘れて道を見よ」という言葉があるけど、これ真理なんだけど普通の人には分からないんだなあ。己の見方しかできない。「たまには自分を休まないで疲れちゃうから」という言葉がマンガ(はぐれ雲)にあった。なるほどなあ、自分を休めない人が心の病になるんだなあ。「自分を休む」・・・良い言葉だ。みんな時々、自分を休んでね。

04/05/2006

### 『Surrender to Nature』

これ、人から教えて貰った言葉。ヨガの英語版のビデオの中にあつたらしい。直訳は「自然に降伏する」という意味ですが、「身も心も自然にゆだねる」という意味でもある。大事なことだよ。抵抗しないで身を任せれば良いのに。

04/06/2006

鬱病とか神経症は、結局、自分病だな。

04/10/2006

仕事は、愛情と執念とあっちこちから考える思考の多様性とチャレンジだな。それと感情の統御。これら一連の一体化と繰り返して仕事はいつかうまくいく。ベンチャー企業の経営者や開発者のテーマは、いくら儲けるではなくて貢献と言うのが増えてきた。日本は素晴らしい時代になってきているよね。

04/17/2006

人間の人生というものは本当に不思議だ。人間の知能では予測できない。ただ全力で考え、全力で対処していると気がつく道が開いていたということでもあるし、道が無いと思っていたところを振り返ってみると実はそこが道だったということでもあるな。

04/18/2006

道、道には大抵幅がある。その幅がどんどん広がって端が見えなくなったら？それって道？でも道が広がっただけだよ。日本人の普通の宗教観や日本の神道ってそういう宗教かもね。人によっては自由自在、人によっては広すぎて方向を見失う。他の宗教は道の幅が狭いから人は一方向にぎゅうぎゅうずめで進むことになる。幅が狭いから分かりやすいメリットはあるな。

04/20/2006

財布の中にいつも1万円をいれて安心していた人がある時10万円を入れた。お金は使うので当然8万、5万円と減ってくる。かつては一万円が入っていれば不安は無かったのに5万円と不安になってくる。人間の心とは不思議なものだ。かつて5万円持っていればリッチな気持ちになったのが、一度10万円を入れたために5万円と不安になる。これが成り上がりの金持ちの心境だな。本当の金持ちは財布に千円(帰りの電車賃として十分な金額)が入っていれば何も不安がない。財布に千円しか持っていない人を見ると「この人、本当に金持ちなんだ」と思ってしまう。

04/21/2006

私は約20年前から、「人は40歳までは能力で仕事をして、40歳からは人格で仕事をする」と言っています。40、50歳を過ぎて経済的に恵まれない人の共通点は、感情で判断しているということですね。「そんなのいやだ!」、「そんなのやりたくない!」、「なんで私がそんなこと、やらなくてはならないの!」という人には恵まれた仕事はやってこない。当然ですよ、仕事を与える側から見るとそういう人には責任ある仕事を与えられない。責任ある仕事がきちんと出来なければ経済的に恵まれないのは当然です。

「良い仕事を与えられれば責任を持ってやるわよ」と言っている限りそういう仕事はやってこない。良い仕事なんて、やらされている限り元々存在しないのだから。仕事出来るかどうかを見るために嫌だと思ふ仕事や事柄がテストとして次々とやってくる。それを喜んでやらなければ恵まれた仕事の運は付かない。どんなことも喜んで受け入れてやれる人のみに、ちょっとづつちょっとづつ幸運はやってくる。04/29/2006

弘前の温泉で体重計に乗ったら68kgを指していた。今まで64kgまでは認識していたが、68kgに大ショック!!! 体重を減らさなくては!!! で、弘前で買ってきた土産物を間食として自分で食べている。

05/08/2006

「今を生きる」、「悟りとは比較しないこと」、「自分を離す」、「自分を忘れる」、「自分の心を解放する」とはいろんなところで言われ書かれているが、いくら聞いても読んで分らない人が多い。分かっていないことも分かっていない。そうして無明の業が新たな業を作る。人の業は本当に深いものなのだ。すべての出発点の基本は「己の欲せざる所人に施す事なかれ」なんだけどな。

05/21/2006

鬱のことを心の風邪と呼んでいる人がいるが、私は「鬱は心の痛風」と呼びたい。確かに痛いでしょう、でもそれは贅沢から来ている。「苦しい」と言っている人で「それは本当に苦しいだろうなあ」というような人に今まで会ったことがない。本当に苦しい状況の人は「苦しい」なんて言っている暇はない。「苦しい」、「悲しい」と言っている間は、甘い、甘い。そんなことは20代で気づく内容だ。

05/26/2006

女って人の言ったことは良く覚えているけど自分の言ったこと、したことで自分にとって都合の悪いことはみんな記憶から消去するんだな。最近続けて二人の頭の良い女性で同じ経験をした。自分の言ったことを完璧に忘れるのは「女の利己的遺伝子」の働きだな。

今の一瞬が次の一瞬を作り上げるから、「今」に全力は大事なことだが、同時にどうせいずれ忘れるものだから悩む必要は何も無い。忘れるものを悩んでもしょうがないでしょ。最近、何度か人の記憶がいかに曖昧なものか痛切に感じる経験をしている。

05/27/2006

どうして多くの人が相手の人や多くの人に貢献しないで人に何かを求めるのだろう？「何々して欲しい」、「何々してくれない」という希望や文句の言葉が如何に多いか！普段の人への貢献のお返しが縁となって返ってくるという真理をいつまで経っても気づかないのはどうしてだろう？

「嫌だ、嫌いだ、私はそんなことしたくない」といつも言いながら、何かあれば「何々して欲しい」は無理があるわな。自分が文句を言っていることにも気づいていないのだろうな。「好きだ、嫌いだ、やりたくない」が正しい真理の感情だと認識している。

05/31/2006

学び(知識)というものは人格(心)の変更をもたらすものでなければ意味がない。人生とは、ある意味で常に自分が変わっていくこと。感情的判断から理性的判断に、そして霊性的判断に進化すること。10年、20年、30年学びを続けても感情的判断から抜け出せない人が多い。

06/02/2006

株のホーム・トレーダーで大きく成功しているのは0.3%という。毎年1000種類の新製品が生まれてヒットするのは3つだという。1000人の人が教えを聞いてその真理が分かるのは3人という。誰もがその3人の内の一人だと思っている。

天風教義も、所詮千、三つと考えないと失望感が生まれる。

「千、三つ」というのはどこでも真理なんだな。

06/12/22006

人の幸せは、「健康」と「愛情」と「経済的豊かさ」の三つがそろふことという。

私はもうそういうレベルは卒業したなあ。

その上はいかなる環境(上の三つは環境の一部にしか過ぎない)でも使命に立ち向かうことだな。環境が良いことは有り難いと感謝すること。逆境もまた自分を強くするためのものとして感謝だな。

自分の能力を出し切れること、使命に挑戦できること、が幸せかな？

能力を出し切るのは、凡人には逆境のほうが出やすいね。

使命の実行に応じて必要な環境が与えられるということでもあるな。

06/21/2006



精神論(根性論)は、科学的手法によって完全にバックアップされなくては意味がない。日本は根性でブレイク・スルーを考えるが、合理性を伴わなければ負ける。06/27/2006

自分が問題だと思っていない問題は解決しない。  
病気とか直面している明確な問題は、真剣に取り組むことで解決するか改善出来る。しかし自分で問題だと思っていない自分の人格は進化・向上しない。そこに天風会や教義に問題があるんだな。  
明確な問題を抱えている人は幸せだな。それは進化・向上できる種だから。  
07/04/2006

人は誰でも良い面(優しい性格)と悪い面(とんでもない性格)を持っている。豊かで愛情に包まれた環境では大抵良い性格が出てくる。そのまま一生を終えると本当に幸せな人生であるが、そのことに疑問も出てくる。人格の裏に持っている悪い性格が出てきてしまう環境や試練の中で、悪い性格に気づき直してこそ魂は向上する。「悩める者、汝は幸いなり」、とか「病める者、汝は幸いなり」という言葉が聖書にあるが、それは本当なんだな。悩みのない人は幸せだが、気づきが無いので魂の進歩が無い。悪い性格を悪いと気づかないまま人生を終える人が多いかも知れないが、試練は気づくチャンスにはなる。頭に来ることや苦しいと感じることを気づきのチャンスにするかどうかはその人自身の問題だ。「良い子(娘)だなあ」と思っていた人が裏側にとんでもない性格を持っていて愕然とした経験も一度や二度ではないのだが、それで良かったのだな。ただ気づきのチャンスにならなかった。自分に気づくということは本当に難しい。  
07/11/2006

人の話は、”信じない”、”疑わない”という姿勢で聞くのがポイントだな。疑っているとそのエネルギーが身体を覆って身体が硬直して理解できないし、身につかない。信じていると力が入ってこれも効果が少なくなる。疑わない、信じない、という空の状態が良い。  
07/23/2006

### 理解の三段活用

第1段. 知識と理屈で理解する。・・・教祖がこう言っていたとか、どこそこの本にこう書いていたというレベル。「うーん、なるほど」という言葉が出てくる。本人は理解しているつもりになっている。  
第2段. イメージで理解する。この段階で比喩やたとえ話が自在に出来る。たとえ話が出来ないと分かった内に入らない。「へえー、なるほどなあ！」で代表される。  
第3段. 直覚、直感的に言葉やイメージが脳の中から湧き出てくる。または頭の上からピンと入ってくる。「あっ！、そっか！」という理解。この段階で小悟になる。それを人に話しても、半分の人は何を言っているのか理解できないかも知れない。

少なくとも知識をそのまま話しているときは「私はまだ分かってない」とか「あの人はまだわかっとらんなあ」と判断して良い。

07/31/2006

チャンスは誰にでも平等にあるというのは本当かも知れないなあ。  
多く人は目の前にそれがあってもチャンスだと気づかないんだな。  
いつも過去と現在の問題を鳥もちで自分とくっつけているから悩みになる。  
その鳥もちと一人勝手に格闘して目の前が見えない。  
問題は問題、自分は自分と分離すればよいのに、  
自分で自分と問題の間に鳥もちを付けちゃう。  
それで結局、過去に支配された過去の奴隷になってしまう。

08/30/2006

仕事の結果は神様(見えざる計らい)が作るもの。  
人間はその結果が通りやすい道を作るだけ。  
だから仕事の結果を煩うことなかれ。ただ誠実にこなせばよいのだ。  
人が期待するところからは結果は生まれず、何も気にしていなかったところで  
花が咲く。ただ目の前の仕事に無心で全力で取り組めばよい。  
不思議に仕事はそんなもんだ。

09/06/2006

モンゴルの星空を見て私は言った、「この電気代はいくらかかるのだろう？」

09/07/2006

「もうちょっと、もうちょっと」が、地獄の一丁目。  
「これぐらい大丈夫だろう」は、悪魔の手招き。

09/11/2006

人間には「運命」というものが存在する。  
もうひとつ存在するものがある。  
それは「**運命を選択する**」ということだ。  
今の日本人は、**運命を選択するという力**が弱いのかな。  
損得や好き嫌いで選択することは運命の選択ではない。  
それは選択ではなく運命に流されているということだから。  
多く人は、自ら選択するということと流されているということの区別が出来ない。

09/14/2006

ひとつの動物の数は餌の量に比例するという。養う餌が増えればそれを食べる生き物は増える。餌が減ればそれを食べる生き物が減る。

日本人の出生率が下がっているということは、日本での人間の食料が減っているということである。ということは、マクドナルドやコンビニ弁当や電子レンジを使った食べ物は空腹をごまかすだけで、人間という種の食べ物ではないということだ。単純な論理だな。思考は何も知らないが身体はそれを知っているということだな。

餌がいっぱいあるのに生態の数が減る場合、特殊の原因としてウィルスの蔓延がある。日本人にウィルスが蔓延しているとも言える。それも心に作用する脳の中に。餌が減ったか、ウィルスによる人口減少か、それ以外に生物学的には理由が無い。しかし、人間(西洋人)が人間(南北アメリカの原住民)にばらまいた細菌による人口減少を除いて、ウィルスや細菌が蔓延して種が絶滅したというケースを私は知識不足で知らない(細菌の蔓延で人口が半減したというケースはままたにあるが)。私は日本における餌(人間の本来の食べ物)の減少論を取りたい。

心の病の問題は、私は『音』説を中心に取りたい。

CDやiポッドのような高周波領域をカットしている音は人間の心をいらいらさせる。オーディオ・ショップで売っている店員でもCDの音とiポッドの音の区別は付かないと言っていた。私は実によく判別できる。高級オーディオショップでCDから流れる森の小鳥の鳴き声を聴いた。音の出ている領域での音はとても良いが高周波領域である倍音がカットされているので私の心の深い部分でイライラしてきた。私は自分でそれが分かるが、耳で区別できない人は音が原因とは何も分からずイライラしてくると思う。天風教義のいうところの『地の声』、『天の声』が聞こえるようになると自在にその音の違いが分かるようになる。耳の分解能がすごく高まる。

09/18/2006

「何々先生はこう言った」、「どこそこの本にこう書いている」、「テレビで言っていた」とか、自分が知識に洗脳されてはいけない。感情に支配されてもいけない。

09/18/2006

「心身は相関」と言うが、相関ではなく、相似形なのだ。

姿勢と心は相似形なのだ。

宇宙法則と人間は相似形なのだ。

ロケットが地球の重力から飛び出すには一定以上のかなりの加速度が必要だ。

人間が過去という重力から抜け出すには一定以上のかなりのエネルギーが必要だ。

09/22/2006

自分が人(特に家族や大事な人)に対してこうあって欲しいと思うことが返ってくることはまずない。期待通りの反応が返ってくることは往々にしてそのあと危険が付いてくる。ホストや詐欺師からはまずは期待通りかそれ以上のものが返ってくる。

10/02/2006

人間の人生の目的は、私がしばしば言うことなのだが、「心の解放と魂の向上」なのだが、心が解放されないと魂はなかなか向上しない。

心の解放とは、心を空っぽにして感情や思考に従わないで流れに身を任すこと。流れに身を任すことを恐れる人が多いが、何事も任した方がうまくいく。「あーだ、こうだ」と考えたことが結局無駄だったと分かる(悟る)ことが多い。

心の問題から腰痛が治らない人、なかなか丈夫な身体にならない人などいろんな人を見ていると何とかしてあげたいと思うけれど心や思考を解放しないから何とも出来ない。そういう場合、腰や膝の痛みをヒーリングで簡単にとってはいけないなあ。心身相似形だからね。

そして悩んでいる苦しんでいる自分にナルシズムを感じている人が多いからね。大抵はそうだね。そしてそれに気づかないでいる。

そういうのを身体と口は閉じこもっていないけど心の閉じこもりというんだな。そして思考はいつも同じところをぐるぐる回っている。

自分を変えたいと心の表では思っても心の深いところでは実は何も変えたくないと思っている。だから何も変わらない。自分を変えるには本気にならなくては。そういうのが見えても何も出来ないでただ見ていなくてはならないのがつらいね。

10/06/2006

ひとつトラブルと次々とトラブル。不思議にトラブルの連鎖反応が起きる。

そこで、「こんちくしょー！」と思ったり、口にしてしまえば人間失格。

それを我慢して、「勉強！勉強！」と自分に言い聞かせる。

次に注意すべきこと、また常に注意しないといけないことを教えてくれる。

時に、「行くな！」と天から合図が入るが、行けばどんな悪いことが起きるのか見てみたい。怖いもの見たさで行ってしまうこともある。どんな悪いことが起きるのか体験するのも勉強のうち。

10/12/2006

結局、プロとはどんな状況でも頭に来ないこと。心臓が止まるまで諦めないこと。それがプロと素人の差だな。

仕事のプロ、生きることのプロ、何かのプロになることだな。

「そんなのやってられない」と言って何かをすぐにやめるのはまだ人間の素人だな。

「うーん」、女に関しては、僕は素人だな。

10/14/2006

右を選んだら右の道がある。左を選んだら左の道がある。

どちらを選んでもそれぞれ意味のあることが起きる。

だからどちらを選ぼうかを迷う必要はない。

どちらを選んでもカルマの法則や人間としての出来に従うことが起きる。

モンゴル・ツアーでは私の過去生のカルマを整理しているような気がするなあ。

10/18/2006

小学生には小学校の先生がちょうど良い。中学生には中学校の先生がちょうど良い。大学生には大学の先生がちょうど良い。大学生が分からない問題を小学校の先生に聞いてもそれは無理があるわなあ。ただ小学校の先生がここは大学だと勘違いしていることは世の中よくあるなあ。分かるかなあ？このたとえ。

10/20/2006

人生は波乗りに似ている。やっぱり波には乗らないとスーッと人生いかんな。この波は私の乗る波じゃないと言い続けて日が暮れる。

「あっ、大きな私の乗る波が来た！」と乗ろうとするが今まで、「あーだ、こーだ」と理屈を付けて乗ってこなかったのが、乗るコツが分からずひっくり返る。で、「あれは私の乗る波ではなかった」と言い訳をしているうちに人生が終わることが無いようにしましょう。

10/27/2006

人は自分の文化背景(生まれ、育ち、時代、人生経験や学んだ知識)から生まれた価値観を持っている。その価値観が真理だと勘違いしている人が多いが、その勘違いが問題なんだなあ。

知識を持っていることで、それが自分は出来ているという錯覚も問題だ。

10/30/2006

「組織のため」、「組織を守るためには」という思考をする人は真理を学ぶ所に何十年いて修練をしても何も真理を会得していない証拠である。

少しでも真理を会得した人は、「一人でも多くの人にとって良いことは」という以外の思考は無い。自分の名前も名誉も金も組織も関係ない。金を集めた人が偉いなんていう発想は生まれるはずもない。

歴史を見れば組織のためにといいことで働いた者で尊敬に値する人間は存在しない。彼らはすべて軽蔑の対象になっている。

単純に言えば、忠とは一人の人のために、義とは多くの人のために自分の命を差し出すことである。そこに組織は存在しない。

11/07/2006

「三角形の内角の総和は180度」、という定理は発見した人に名誉はあるが著作権はない。クンバハカという言葉も同じ。真理の著作権は神(宇宙)にあるのであって人間にはない。著作権だとか商標だとか騒ぐのは真理というものを理解していないからだな。

11/21/2006

人は過去生に於いて偉大な人物であったと思いたいのだろうけど、逆だね。魂の進化・向上のために生まれているとしたら、その偉大なる過去の自分より進化した心と生き方をしないとイケないのだから大変なんだよね。過去より後退するわけにはいかないのだから。より成長するために、過去よりより大きな試練や課題をプログラムして生まれているのだから、あーだ、こーだと能書きをたれている暇はないのだ。まあ、凡人であったことを、そして今、凡人として生まれたことに感謝しよう。

人間とは不思議なもので自分のことを考えている限り自分が救われることはない。歴史に於いて偉大な人物で「時の利、今あらず」と逃げた者はいても自分の安全を計った者はいない。自分の安全を考えずに瞬間瞬間全体の流れを考えて瞬間瞬間決断し実行した結果を歴史が評価しているだけで、「気がついたらこんなになっていた」ということなんだよね。

そして自分の安全を考えるようになると没落の始まりになる。

11/23/2006

仕事というものは、仕事だけでないけれど、どうして「こうなるはずだ」という予測を踏みにじるのだろうか？簡単なはずが訳の分からない現象が起きる。

「どうしてだあ！！」という叫びと共に考え抜いて実験を積み重ねてひとつひとつ「なるほどこういうことか」という理解と対策を試行錯誤しながら考え実行して前進する。順調にいくものは何ひとつ無い。神様は、簡単というものは何ひとつ与えてくれない。

12/01/2006

人間、何事も問題が起きて知恵が生まれる。

人間、何事も失敗から始まる。

問題も失敗も自分の能力を振り絞るための課題で悩む対象ではない。

悩むのは自分の能力に対する冒涇だな。

12/09/2006

幸せな人は気が長い。

幸せでない人は気が短い。

幸せでない人は気が短いので「これは幸せの芽が出ていないので種ではない」と幸せの種を捨ててしまう。そうして次々に幸せのチャンスを捨てていく。

幸せの種には、「これは幸せの種です」とは書いていない。これ真理だな。

いやー、たまには「これは幸せの種です」と書いてあるのだが、それは私の求めている幸せ(星の王子様)ではないと捨ててしまうこともある。

人間とはどうして幸せでないことがそんなに好きなんだろう？

12/15/2006

自分の考え方を変えないで、人生を変えたいなんて、豊かになりたいなんて甘いよね。

せっかくこの世に人間として生まれて、せっかくこの日本に生まれて、なんて時間と心が無駄にしている人が多いのだろうと思う。

12/16/2006

人間、結局は、聞く力、受け入れる力、変われる力、この三つだな。

自分の耳に心地よいことだけを聞いて受け入れるだけではなあ。

良いことを聞いても変われないとなあ。

「なるほど」、と思えばそれに合わせて自分が少しずつ変化しないとなあ。

12/20/2006

地球とその上に生息しているすべての生命・動物は宇宙人の子供  
(この子供のことを人間は神様と呼んでいる)の『たまごっち』。

12/27/2006

考えたら自分が作っている自分の枠を越えられない。それって当然だよな。

考えたら本当の自分の世界に行けない。

それを邪魔しているのが恐怖心なんだよね。

12/29/2006

感動を感謝に、感謝を愛に、愛を人を幸せにするための行動に。

始まりは感動や喜びかも知れませんね。

感動はまず動かないと感じませんね。

感動とは、「感じて動く」という説がありますが、

私は「動いて感じる」という説を取ります。

そんな説、誰が言っている？私が言っている。

01/08/2007

人間、50過ぎれば好きなように生きれば良い。

自分の思うとおり生きれば良い。

なぜなら50過ぎれば人間100%自己責任だから。

01/16/2007

誰かに付いていくことで幸せになることを過去生で繰り返した人は  
今生では自分で考えて自分で決める修行に入ることになる。

そらあ、うまくいかんわな。でもそれが勉強、それが学び。

それで良いんだよ。それを受けとめてくれる人(神様)がいるだよ。

01/20/2007

「あなたは夢を見ますか？」

「はい、毎日夢を見ています。朝起きてから夜寝るまで」

NHKBSの映画を観ていたらこの言葉がありました。

01/21/2007

人間の目標は、自分の解放と慈悲の心ですね。

携帯への依存、メールへの依存、ゲームへの依存、

パチンコ、ギャンブルへの依存、国への依存、親への依存、

仕事への依存、宗教への依存、教えへの依存、

そういう依存からの自分の解放が大事ですね。それが自立ですね。

「宗教は阿片」と共産主義では言うらしいけれど、ある意味で、それは

かなり本当ですね。自分の解放はなかなか難しいことを人は知らない。

自分が自分の心から解放されていないことに気づいていないのだから。

学ぶこと、身につけること、楽しむことは大事だが、依存してはいけない。

01/26/2007

「バカは死ななきゃ治らない」というけれど、

死んで治ればいいんだけど……………。

02/06/2007

国や民族や人間を誤らせるのは、集団的私欲と教条主義的正義だな。

どちらも自分が正しいと思っている点で同類であることに気づかない。

02/17/2007

せっぱ詰まった状態で安定打坐していると、「あっ！」と知恵が瞬間入って

くることが多い。この知恵は「見えざる計らい」から戴くもので自分の能力では

ないな。パツと入ってくる閃きを自分の能力だとうぬぼれてはいけない。

「見えざる計らい」が人間から見て閃きという形で知恵を頭の中に送ってくれる

のだ。感謝だな。知恵が入って気安いように心を虚にしておくことが大事だ。

02/20/2007

モンゴルのファースト・フードは日本のスロー・フードと同じ時間がかかる。

では、日本のスロー・フードはモンゴルでは？？…日本では耐えられない

時間がかかる。違いを無心に受け入れる力が必要だ。そして自分の中に

複数の価値観・時間観を持つことは大事だ。

03/11/2007



生活習慣病というのがあります。30, 40歳過ぎて起きる病気は大抵そうだな。それ以上にあるのが、思考習慣病だな。心の癖、考え方の癖が病気や運命を作る。

03/12/2007

天国にはお金はないけれど地獄にはあるかもなあ。だって、「あの世にお金は持っていけないと言うけれど、地獄の沙汰も金次第」って言うじゃない？

貧乏でもなくお金も無いという状態がこの世でも天国かも？私は天国で育った。海の幸、山の幸、畑の幸、食べたいだけあった。でもお金だけは無かった。あの頃、お金のいっぱいあった家は今、倒産・夜逃げと没落しているところが多い。私の育った小さな村もかつては瀬戸内海運や北前船を操り栄えたが今はその気配もなくほとんどの家が絶え始めている。栄枯盛衰とはいえ、哲学無き繁栄は栄えすぎては続かない。お家断絶、子孫断絶になるのかもなあ？

03/17/2007

真理を人に教えるのは、果てしなき沼地に足をを入れて進むようなもんだもんなあ。それでいて真理のミス・リードは殺人より罪が重いもんなあ。こういうことが分かっているその果てしなき沼地を素足で一步一步前に進む勇気があるかどうかを宇宙霊(神)から問われる。。沼地を素足で歩くとき地位や名誉やお金や財産や人の評価などというものは何の関係も無い。今の一步のみしか大事なものは無い。真理を教えるということは恐ろしいことなんだよ。

03/19/2007

「甲田式健康道決定版」という本の広告に「心の宿便が肉体に宿便をためる根本原因だった。私たち人間は、心身一如の存在なのである。」とある。

心身相似形だからそうだろうと思う。

人は誰でも自分の心の宿便が何なのか自分で分かれば問題の80%は既に解決したことになるんだが……。

03/22/2007

人は勇気を持って生まれてくるらしいのだが、どうして生まれたら生きることに臆病になるのだろうか？多くの心の病は生きることの恐怖感から病の形の中に逃げ込んでいるのだから。病までいかないでも臆病さで前に進めない変われない人は多い。頑固さもアル中もギャンブル中毒も臆病さの表れなんだから。

03/27/2007

「越すに越せぬ59キロの壁」

去年の5月からダイエットしているのだが、68キロから59キロまではなんとかあったが、59キロの壁を突く抜けられない。ちょっとひとつ余計なものを食べると0.5キロは一瞬で太る。「アッ！」で太り「フウフウ」で痩せる。

03/31/2007

「人生は思うとおりになる」というのは本当ですか？それを本当に信じていますか？

「その人の思いがけないとおりになる」というのが本当じゃないでしょうか？

修行がレベルアップしてくると思うとおりに思わぬ通りの組み合わせになってくるね。ただ傍目から見ていると「その人の人格のとおりになる」というのはきっと本当だな。すなわち「能力の通りに就職し、人格の通りに人生を送る」ということ。

04/01/2007

さすがの私もここ数日ストレスの溜まるが続く。これも試練なのだろうが、同じ人から続けて起こされる同じトラブルに、「ありがとうございます！」とは言えなくなるなあ。ひとつひとつ別のトラブルはひとつひとつ勉強なのだが……。仕事のストレスはそれを解決して結局仕事で解消するしかないということは20年前から分かっている。それにしても世の中どうしてこんなに訳の分からない人が多いのだろう…。本当に私がストレスを解消する場所が欲しいね。

04/02/2007

「子育て」という言葉があるがこの言葉自体から間違っている。子供は育てるものでなく育つもの。親の意向に従って育てられていると思うと子供はぐれるのは当たり前。誰だって親の好みの性格・成績・就職を期待されて教育方針を立てられると反発するわなあ。自分が子供時代にもし親にそうされていればどうだったかを考えれば分かるもの。親は子供が育つのを援助するだけなんだよ。

親の期待に添って勉強して成績や学歴だけで親に褒められて育った末路は哀れだ。そしてその哀れさに気がつかないで自分は偉いと思って生きていることも哀れだ。

子供は『親の思うとおりに』ではなく、『親の思わぬとおりに』に育つもの。

自分の人生も思わぬとおりになっているだろうに。私も200人ぐらいの会社の社長になると思っていたのに(目標としてでなく、なりたくてなるのでもなく、運命としてなりたくなくてもなってしまうと)……。でも結局は今の状態が一番楽しい形なのだ。ちなみに私は親の期待に添うたことは一度も無い。今も無い。あはははは。

04/04/2007

人を偉大にする力、それは結局、失敗から学ぶ力、人の話を聞く力、この二つだね。同じ間違いを二度繰り返す人は失敗から学んでいないということだよ。

人が話しているときに別の人と話したり、頭の中であーだこうだと考えている人は人の話を聞く力のない人だね。そして99%の人は、自分は失敗から学ぶ力がある。人の話を聞く力があると錯覚している。人は本当に自分のことが分からない動物のようだ。

04/14/2007